

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-7

< 7週 > 感染性胃腸炎 - 定点当たり報告数は全国的にはわずかながら減少したが、依然として15都道府県から2桁の報告がある / その他最新動向

< 1月 > 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.8

< インフルエンザ > 定点当たり報告数は第7週にはさらに減少し、秋田県以外のすべての都道府県で前週に比べて減少している



病原体情報
P.9

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス



速報
P.10

香港におけるインフルエンザA(H5N1)患者の発生について



海外感染症情報
P.11-12

香港特別行政区でのインフルエンザA/H5N1患者発生(福建省からの輸入患者) / 中国での急性呼吸器疾患流行 - 更新3 / コンゴでのエボラ出血熱流行 - 更新4 / 南米での黄熱患者報告



感染症の話
P.13-16

結核
わが国では1970年代まで順調に減少してきたが、80年代に入って減少率の鈍化、さらに逆転増加傾向を示した。



読者のコーナー
P.17



グラフ総覧(7週)
P.18-24



グラフ総覧(1月)
P.25-29



1月のデータ
P.30-33



7週のデータ
P.34-42



発生動向総覧

第7週コメント 2月20日集計分

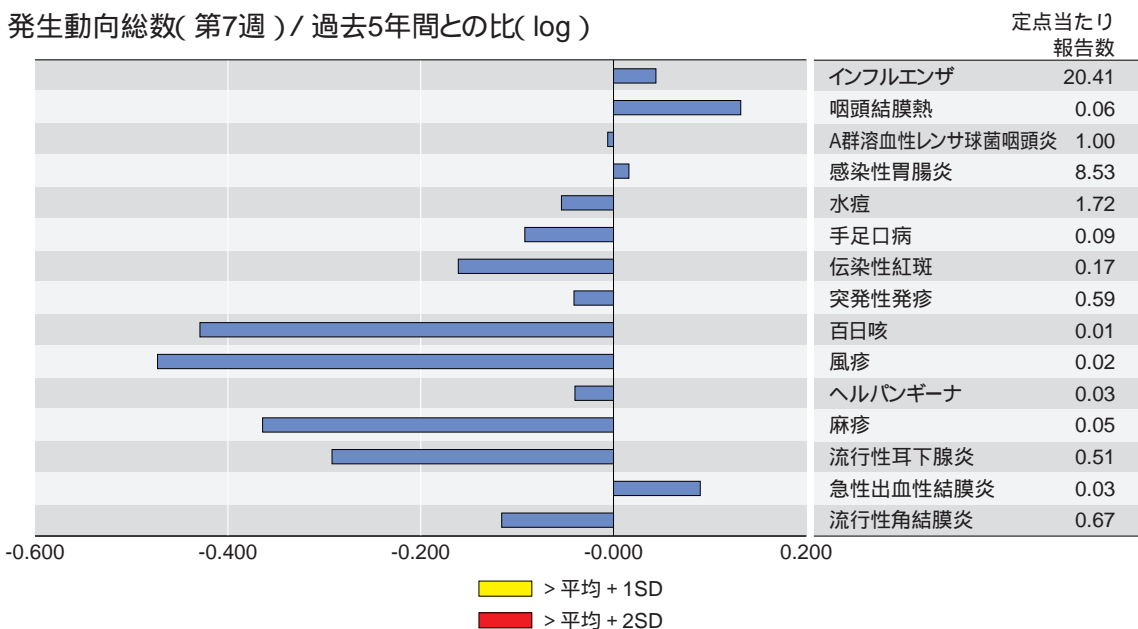
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: タイ、疑似症)、細菌性赤痢8例(推定感染地: 国内5例、インドネシア、カンボジア、ペルー各1例)、腸チフス3例(推定感染地: フィリピン、タイ/バングラディッシュ各1例、タイ/カンボジアの1例は疑似症)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症9例(うち有症者6例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例(推定感染地: 国内1例、グアム1例、その他1例)、ツツガムシ病1例、デング熱1例(デング出血熱、推定感染地: タイ)、レジオネラ症2例
急性ウイルス性肝炎2例 B型1例(推定感染経路: 不明)
CMV1例
クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)
後天性免疫不全症候群6例(無症候4例、AIDS 2例)
感染経路: 性的接触5例(同性間1例、異性間4例)、不明1例
梅毒6例(早期顕症3例、晩期顕症2例、無症候性1例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比べて特別多い疾患はなかったが、風疹の定点当たり報告数が前週の2倍に増え、岡山県(0.5)からの報告が半数を占めた。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は全体としては大きな変化はないが、宮崎県(前週の0.4から0.8)からの報告数が2倍に増加している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、秋田県(前週の1.6から2.6)からの報告が増えている。感染性胃腸炎と水痘の定点当たり報告数は全国的にはわずかながら減少したが、前者は依然として15都道府県から2桁の報告があり、特に大分県(第3週8.9から20.1)では4週連続して定点当たり報告数が増加した。後者は、2週間連続して沖縄県(7.2)と宮崎県(4.2)で大きく増加し、九州・沖縄地域で定点当たり報告数が3.14と他地域の約2倍となった。インフルエンザは3週連続で定点当たり報告数が減少し、20.4となった。広島県(5.7)を除くすべての都道府県で定点当たり報告数は2桁であるが、秋田県(前週の28.1から29.7)以外の都道府県では前週より減少した。成人麻疹と急性脳炎(日本脳炎を除く)の定点当たり報告数は減少した。

発生動向総数(第7週)/過去5年間との比(log)

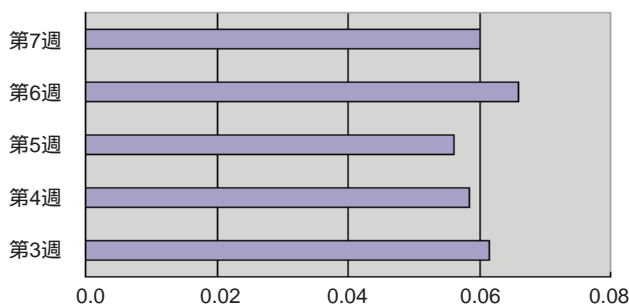


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

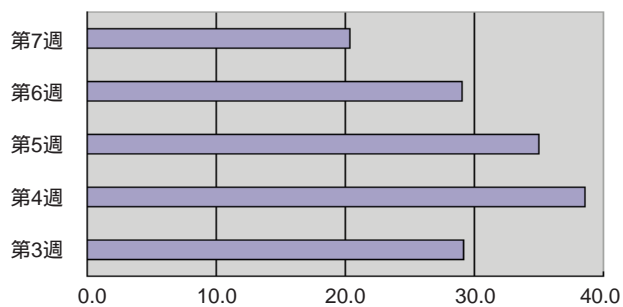
最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

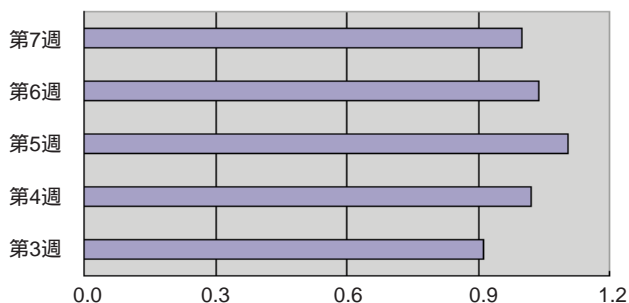
咽頭結膜熱



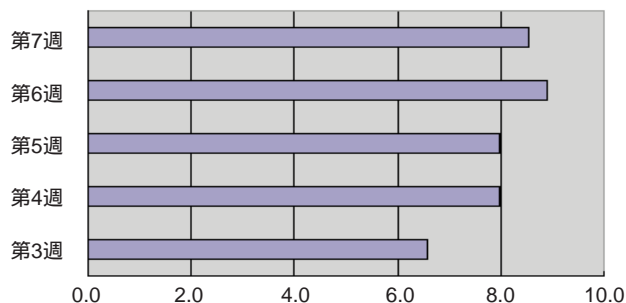
インフルエンザ



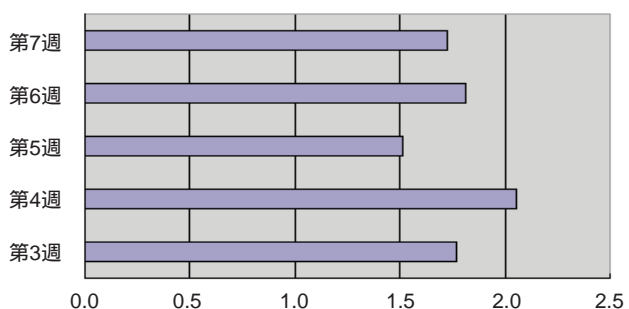
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



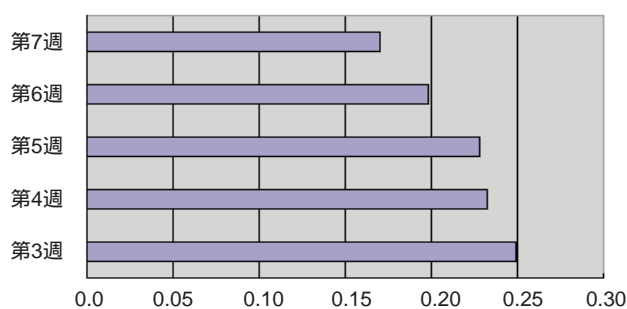
感染性胃腸炎



水痘



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

1月コメント

性感染症について(2月10日集計分)

2003年1月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.60(男1.46、女2.14)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.83(男0.32、女0.51)、尖形コンジロームが0.46(男0.25、女0.22)、淋菌感染症が1.83(男1.46、女0.37)で、4疾病のうち、男性では淋菌感染症(総数1,344)および性器クラミジア感染症(総数1,343)、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、男性で性器ヘルペスウイルス感染症が減少した以外は、いずれも横ばいあるいは上昇傾向にある(25～28ページグラフ総覧参照)。

過去3年間の同時期と比較すると、女性の性器ヘルペスウイルス感染症が平均+2SDを超え、女性の残り3疾病も平均+1標準偏差(SD)を超えている(図2)。

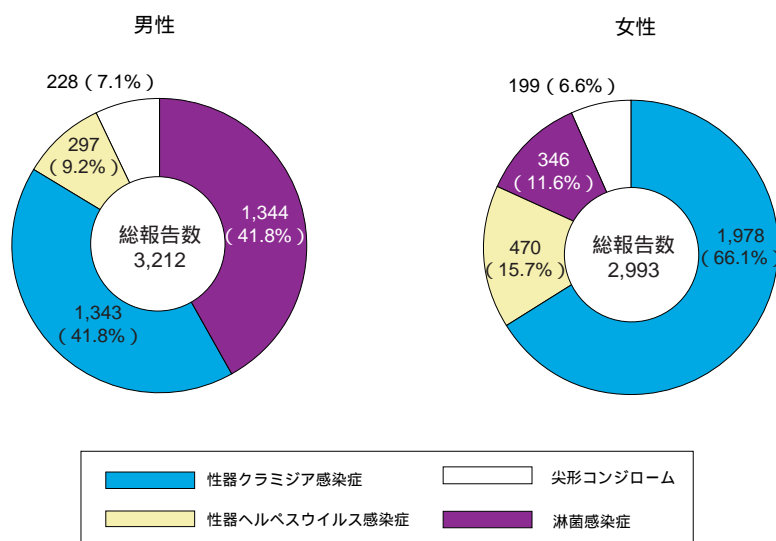
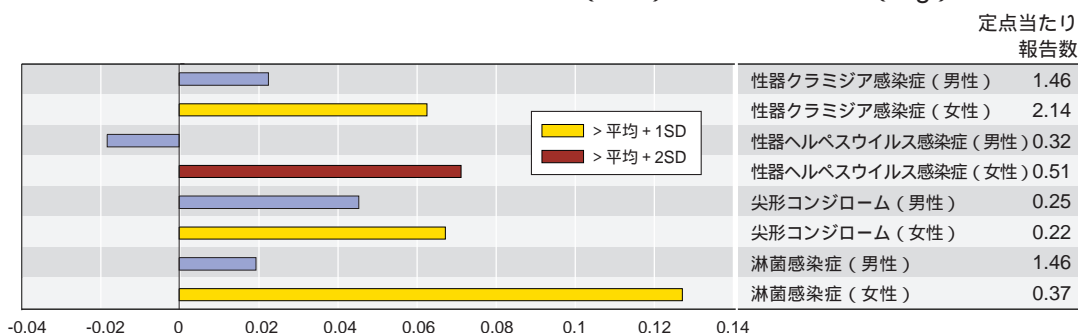


図1. 各性感染症の総報告数に占める割合(1月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(1月)過去3年間との比(log)



当該月と過去3年間の平均(過去3年間の前月、当該月、後月の合計9カ月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別性別で比較すると(図3) いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50歳代以降の高年齢層からの報告も少なくない。淋菌感染症ではいずれの年齢層でも男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数が多い傾向が認められた。(1月の性感染症定点総数は923)

感染症法が施行された1999年4月以降について、淋菌感染症の年齢別月別定点当たり報告数を男女別に図4に示した。男性に比べ、女性では15～24歳の若年齢層が特に多く、また、増加傾向も顕著である。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。

図3. 性感染症の年齢階級別性別グラフ

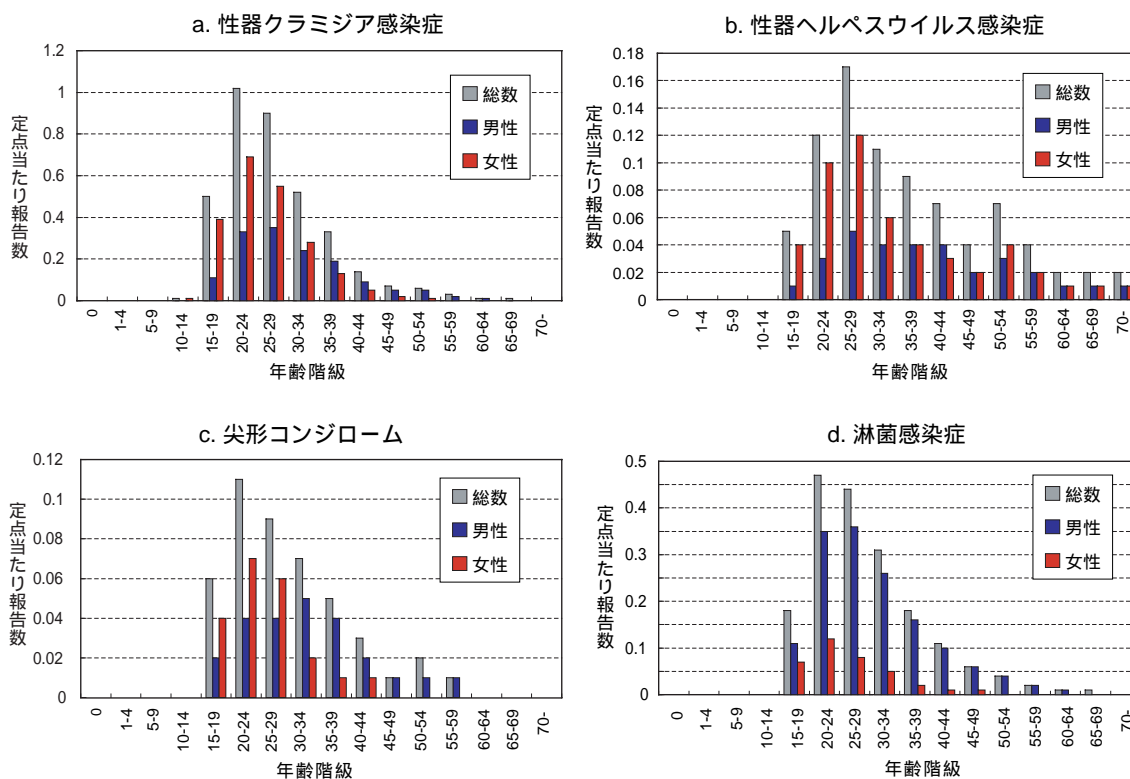
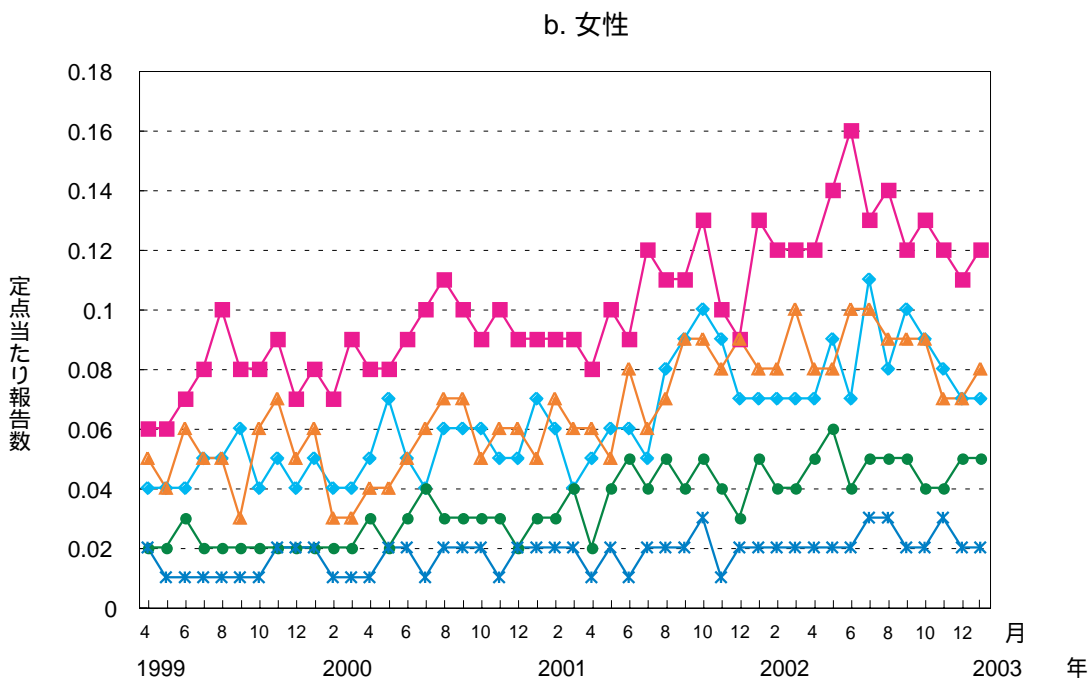
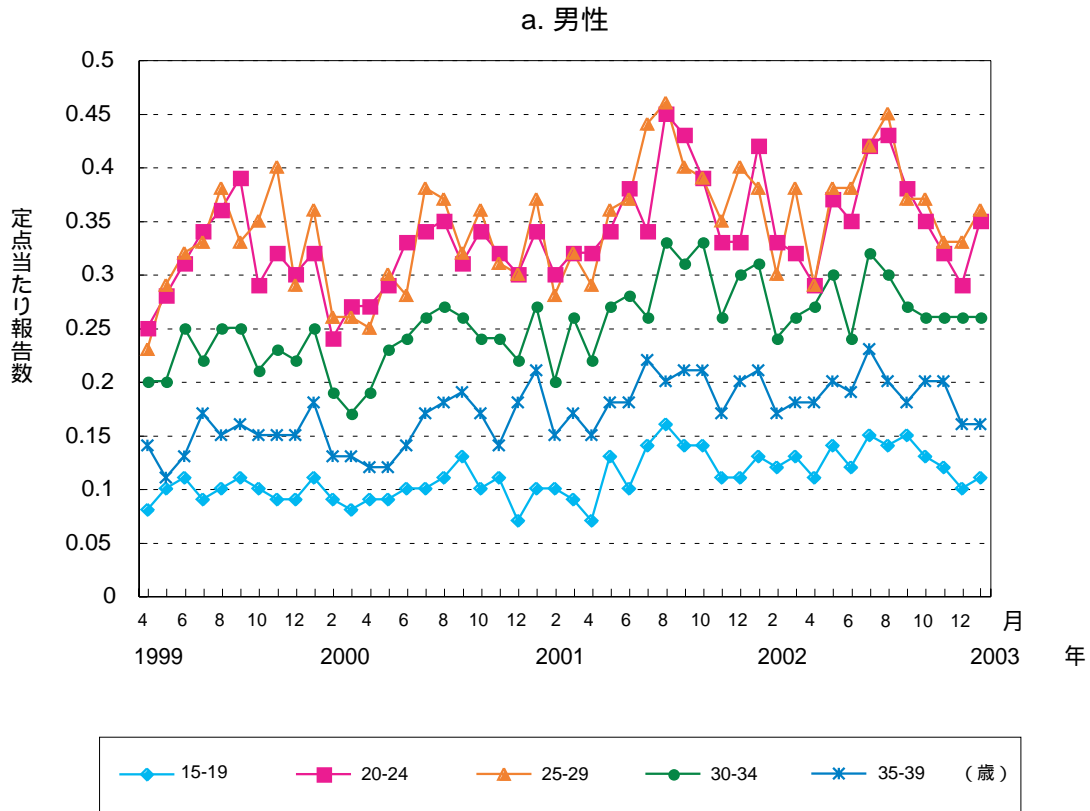


図4. 淋菌感染症の年齢別月別定点当たり報告数(1999年4月以降)



薬剤耐性菌感染症について(2月10日集計分)

【注】)内の+、-、=は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

1月の基幹定点総数: 464 .

1月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.6(+)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.24(-)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.11(-)

年齢階級別: MRSA感染症 ……高齢者に多く、65歳以上が全体の71%を占めている。

PRSP感染症 ……1～4歳(0.46)が最も多く、5歳未満が52%を占めている。

65歳以上の高齢者も27%を占めている。

薬剤耐性緑膿菌感染症 ……65歳以上が全体の45%を占めている。

性別: 定点当たり報告数で男性の女性に対する比率を見た場合、MRSA感染症で1.9倍、

PRSP感染症で1.3倍、薬剤耐性緑膿菌感染症で5.0倍上回っている。

都道府県別: MRSA感染症 ……高知県(8.43)と富山県(7.20)からの報告が多い。

PRSP感染症 ……昨年5月から引き続き、千葉県(8.89)からの報告が非常に多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症 ……東京都(0.52)、愛媛県(0.50)、佐賀県(0.50)からの報告が多い。

月別: MRSA感染症の定点当たり報告数は、2002年11月から引き続き前年の同時期を下回っている。PRSP感染症の定点当たり報告数は、7カ月間連続で前年の同時期を上回っている。

結核サーベイランス月報(2月24日集計分)

1月の新登録患者数は2,332人、活動性肺結核患者は1,892人(うち、喀痰塗抹陽性患者は829人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は405人、非定型抗酸菌陽性者数は216人であった。

*マル初…結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

インフルエンザ

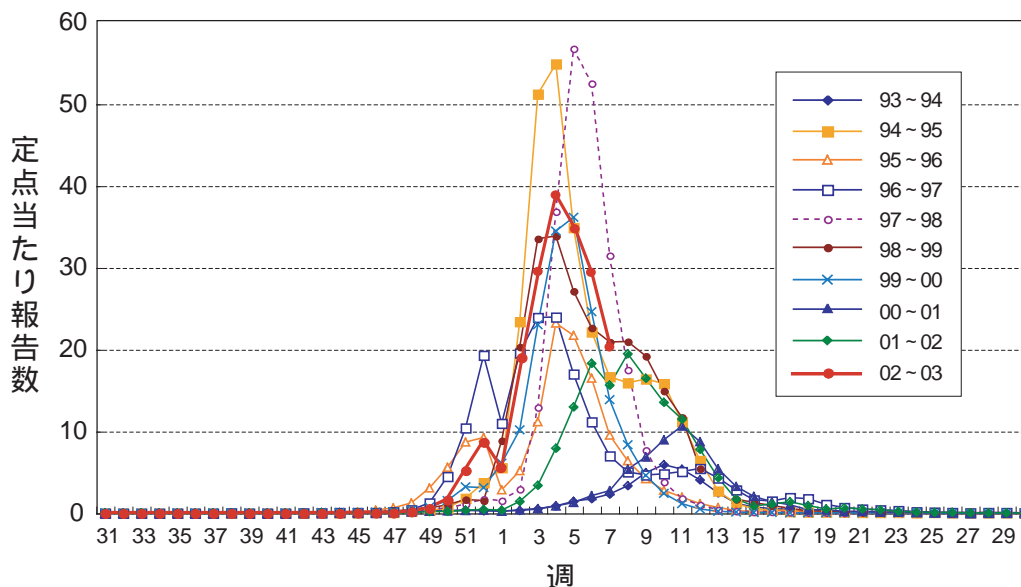
インフルエンザの定点当たり報告数は2003年に入って全国平均で6.3(第1週)、19.1(第2週)、29.4(第3週)、38.7(第4週)、35.2(第5週)、29.2(第6週)と推移してきたが、第7週には20.4とさらに減少した。秋田県で若干増加した以外は、他のすべての都道府県で定点当たり報告数は前週に比べて減少している。しかし、静岡県、福島県、和歌山県、岩手県、沖縄県では定点当たり報告数は30を超えている。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も分離報告がある。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離報告は未だない。

インフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>

図. 過去10年間のインフルエンザシーズン毎のトレンドグラフ



インフルエンザ警報・注意報

第7週においては、全国で注意報基準値を超えている保健所は114カ所、警報基準値を超えている保健所は368カ所であり、注意報、警報ともに減少しつつある。感染症発生動向調査からも、同週1週間の全国レベルでの定点当たり報告数は20.4となり、順調に減少しつつある。しかしながら過去の経験からは、この後B型インフルエンザによる小さな山が続くことが多いため、引き続き注意が必要である。

警報・注意報の地図情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/inf-keiho/trend02.html>



病原体情報

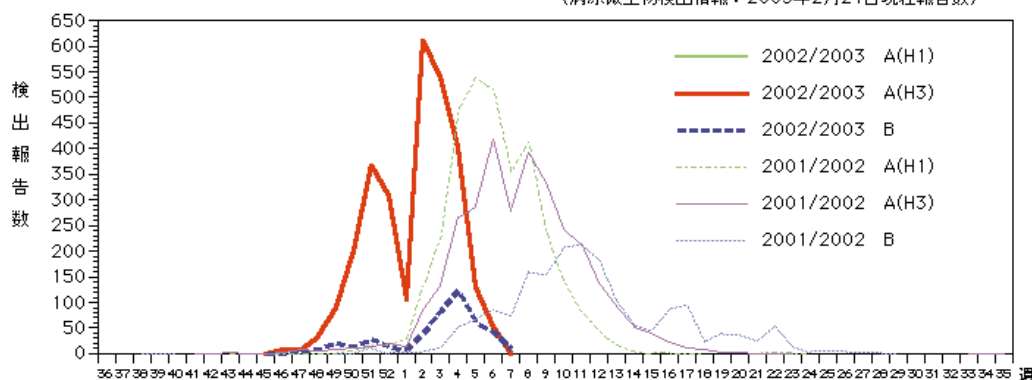
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年2月21日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは2002年第48週から増加し始め、年末年始に一時減少後、2003年第2週より報告数が大きく増加している。第2、3週の報告数はそれぞれ611、539で、昨シーズンのピーク時の数を大きく上回っている。これまでに計2,851件(PCRのみの検出16件を含む)報告され、このうちN型別された217件はすべてN2であった。B型ウイルスは、昨シーズンより少し早い第2週より増加し始め、第2～6週までの報告数は順に41、84、122、63、42である。これまでに計453件(PCRのみの検出1件を含む)報告されており、今後も報告数がさらに増加することが見込まれる。AH1型ウイルスの報告はまだない。

週別型別インフルエンザウイルス分類・検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年2月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分類報告を圖に示した。



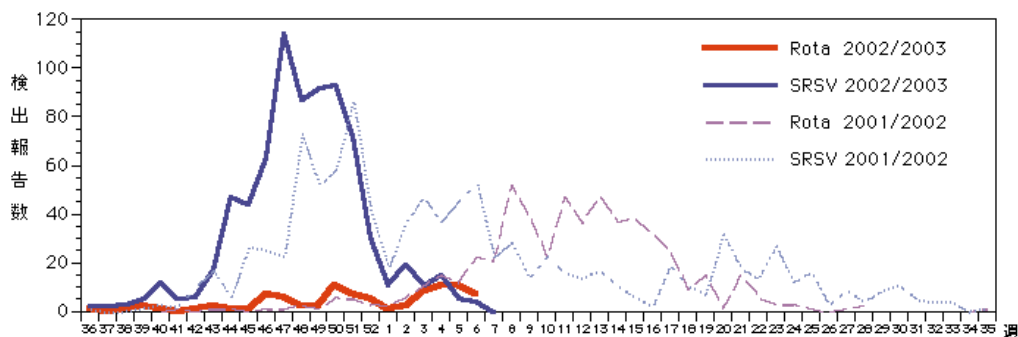
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)は2002年第43週以降増加し、第50週まで昨シーズン同時期の報告数を大きく上回っている。SRSVは計759件報告され、内訳はノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが542件(愛媛県98、岩手県63、東京都35など)と大部分を占め、その他NLV genogroup Iが10件(愛媛県3、宮城県2、愛知県2など)、NLV genogroup不明が193件(山形県142など)、サッポロ様ウイルス(SLV)が2件(大阪市2)、電顕による検出が12件(栃木県4など)である。ロタウイルスは、これまでA群が83件(東京都11、大阪市11など)、C群が2件(岩手県2)、群不明(電顕による検出)が7件(愛媛県7)報告されており、昨シーズンとほぼ同時期の第3週から増加傾向にある。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年2月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



香港におけるインフルエンザA(H5N1)患者の発生について

健感発第0221001号

平成15年2月21日

（ 都道府県
政令市 ）衛生主管部(局)長 殿
特別区

厚生労働省健康局結核感染症課長

香港におけるインフルエンザA(H5N1)患者の発生について

今般、1月に中国福建省に旅行していた香港在住の男児及びその父親より、インフルエンザウイルスA(H5N1)が検出された旨、WHO(世界保健機関)が2月20日までに発表した。現在、厚生労働省は、WHO等と共に、詳細な情報の収集、解析に努めているところである。

現時点において、国内はもとより香港においても、インフルエンザの発生動向に異常は認められていないが、新型インフルエンザウイルスのまん延予防には早期発見が重要である。そのため本件を踏まえ、関係団体とも連携の上、次の対策について御協力願いたい。

1 早期発見対策

ア 当面4月末日までの間に、インフルエンザA型と迅速診断した症例であって、中国福建省又は香港を出発後1週間以内に発症したものについては、患者等の同意を得て、保健所に情報が提供されるよう管内の医療機関に周知願いたい。

イ 保健所は、医療機関から検体の提供を受けた場合、地方衛生研究所等に送付し、ウイルス検査を行われたい。

ウ 地方衛生研究所等におけるウイルス検査により新型インフルエンザが疑われる場合は、国立感染症研究所に検体をすみやかに送付されたい。

2 情報提供対策

厚生労働省は、引き続き、ホームページ「海外渡航者のための感染症情報」、感染症週報等を通じて情報提供を行っていくので、住民に対する普及啓発に活用されたい。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

香港特別行政区でのインフルエンザA/H5N1患者発生(福建省からの輸入患者)

WHO/CSR 2003年2月19日

2月19日現在、香港特別行政区(以下香港と略す)で一人の子供からの検体が2カ所の研究室で検査され、トリ型インフルエンザウイルスが確認された。この患者からの2検体で行われた検査で、トリ型インフルエンザウイルスA/H5N1が同定された。1997年には香港で、類似したウイルスにより、18名の患者と6名の死亡者が発生した流行が起きている。

今回の流行では、母親と2名の姉妹とともに1月に中国の福建省に旅行した9歳の少年が2月9日に発症し、2月12日に香港の病院に入院した。少年は回復し、病状は安定している。患者の家族に同様の症状が認められ、少年の妹と父親が死亡した。少年の母親も発症したが、回復した。

少年以外の家族もインフルエンザA/H5N1に感染していたかどうかは、まだ不明である。これらの疾患の原因を究明するために、医学的および疫学的調査が香港で実施されている。結果は数日で判明するであろう。その感染源を確定するための調査は遂行中である。

WHOは流行の調査において、香港と中国の保健当局と密接に協力している。WHO世界インフルエンザサーベイランスネットワークが警戒態勢を敷いた。

WHO/CSR 2003年2月20日 - 更新

2月20日現在、香港特別行政区(以下香港と略す)の衛生署は、2月17日に香港の病院で死亡した33歳男性が、インフルエンザウイルスA/H5N1に感染していたことを確認した(既報参照)。男性から採取された鼻咽頭吸引検体が香港衛生署ウイルス部で検査され、インフルエンザウイルスA/H5N1陽性であった。

この男性は、今回の香港での流行でインフルエンザウイルスA/H5N1が確認された2例目の患者である。この男性は、昨日検査でインフルエンザウイルスA/H5N1陽性が判明した9歳男児の父親である。両名とも1月に中国福建省へ旅行した。福建省に旅行したこの家族の他の2名も体調を崩している。9歳男児の母親は現在完全に回復し、8歳の妹は福建省で2月4日に死亡した。香港衛生署は流行の感染源を明らかにするため、検査と疫学調査を継続している。また、遺伝子型などの詳細な検査が行われている。香港衛生署によると、過去数週間にインフルエンザの活動性の異常な上昇は検出されていない。

WHOは、北京と香港の衛生署と密接な連絡を取っている。WHO世界インフルエンザサーベイランスネットワークは警戒態勢を取っており、同ネットワーク加盟の各国インフルエンザセンターや他のメンバーに対し、検査診断に必要な追加試薬を用意している。

中国での急性呼吸器疾患流行 - 更新3

WHO/CSR 2003年2月20日

中国衛生部は、5名の死亡者を含む305名の患者が発生した広東省での異型肺炎の流行の病原体は、おそらく *Chlamydia pneumoniae* (肺炎クラミジア) であろうと発表した。さらなる疫学調査が広東省衛生局により行われている。

コンゴでのエボラ出血熱流行 - 更新4

WHO/CSR 2003年2月18日

2003年2月18日現在、Cuvett Ouest地域のMbomo地区及びKelle地区からエボラ出血熱疑い患者73名および死亡者59名が報告されている。コンゴ共和国政府は正式に、今回の流行がエボラ出血熱によるものであると宣言した。患者検体を用いてガボンにあるフランスビル国際医学研究センター(CIRMF)で実施された検査で、エボラ出血熱の診断が確認された。政府は流行征圧に関し、WHOの支援を要請している。疫学専門家および住民動員の専門家を含む対策チームがCuvette Ouest地域に到着した。患者治療の専門家も近々現地で合流する予定である。

南米での黄熱患者報告

WHO/WER 2003年2月14日

ブラジル: 黄熱患者32名(死亡者9名を含む)を2003年1月27日 ~ 2月2日の間に報告した。
コロンビア: 黄熱患者1名(死亡者1名を含む)を2003年1月27日 ~ 2月2日の間に報告した。
ペルー: 黄熱患者1名(死亡者0)を2002年12月30日 ~ 1月5日の間に報告した。



感染症の話

結核(Tuberculosis)

エジプトのミイラから典型的な結核の痕跡が見つかるなど、結核は人類の歴史とともにある古い病気である。日本では、明治以降の産業革命による人口集中に伴い、結核は国内に蔓延し、「結核は国民病」と呼ばれた。昭和26年に「結核予防法」が制定されて以来50年経過したこの数年は、結核の死亡率順位はつねに20位以下であり、なかば忘れ去られようとしている。しかし、大都市の一部の結核罹患率は依然群を抜いており、集団感染事例もあとをたたない。また、開発途上国では依然として公衆衛生上の大問題であり、交通手段の高速化、大量化、効率化によって感染者の移動も容易なことから、問題は途上国に留まらないことが指摘されている。一方、エイズの世界蔓延によってHIV感染者が増加するなかで、結核との重感染者の重症化が心配されている。こうしたことから、結核は「再興感染症」として再び注目すべき疾患となっている。

疫学

WHOの推計によると、世界人口の約1/3にあたる20億人が結核に感染し、そのうち毎年800万人の新たな結核患者が発生し、300万人(そのうち30万人は15歳未満の子供たち)が結核で死亡している。その99%が開発途上国に集中している。これは単独の病原体による死亡としては依然として最悪の第一位である。

わが国においては、平成12年(2000年)の新規結核患者は39,384人(罹患率31.0)、塗抹陽性患者は13,220人(陽性率10.4)、結核死亡者は2,650人(結核死亡率2.1)である。かつて10 ~ 20代の青年層の300人に1人が結核で死亡した時代があったが、最近では、その多くは高齢者で占められている。1970年代まで順調に減少してきたわが国の結核罹患率は、80年代に入って減少率の鈍化を示し、さらに逆転増加傾向を示したことから、厚生省(当時)は1999年、「結核緊急事態宣言」を発した。

病原体

結核の原因菌は結核菌(*Mycobacterium tuberculosis*)であり、取り扱いにはバイオセーフティレベル3(BSL-3)である。

結核菌は長さ2 ~ 10ミクロン、幅0.3 ~ 0.6ミクロンの細長の桿菌で、芽胞、鞭毛、莢膜はつぐらない(図1)。細胞壁は脂質に富み、通常の染色法では染まりにくいいため、チール・ネルゼン法などの抗酸性染色法で染める。結核菌は偏性好気性菌で至適温度は37℃、至適pHは6.4 ~ 7.0である。臨床材料からの分離培養には小川培地、LJ(Lowenstein-Jensen)培地などの卵培地が汎用される。

結核菌はわが国の全抗酸菌の約85%を占めるといわれる。結核菌、牛型結核菌(*M. bovis*)、アフリカ型結核菌(*M.*

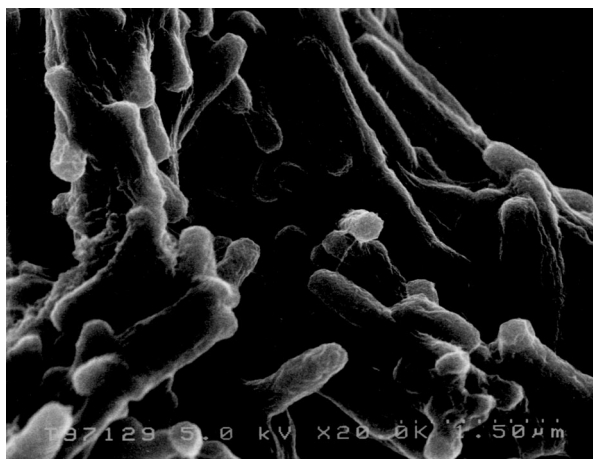


図1. 結核菌の電子顕微鏡像
(撮影:ハンセン病研究センター 山崎利雄)

africanum)、ネズミ結核菌(*M. microti*)を結核菌群(*M. tuberculosis complex*)と呼ぶ。牛型菌はウシ、シカなど動物の感染例が大部分であるが、欧米ではヒトへの感染例もまれに報告されており、汚染した牛乳の摂取によるとされている。結核菌属には *M. kansasii*、*M. marimum*、*M. avium*、*M. intracellulare*、*M. xenopi* あるいは、ヒトには病気を起こさない *M. smegmatis* など種々様々な菌種がある。わが国では、*M. avium*、*M. intracellulare*、*M. kansasii* などによる病気は今では珍しくなく、菌陽性患者の10数パーセントを占めるほどになっており、「非結核性抗酸菌症」と総称されている。これらの菌による病気は臨床経過、治療法などがそれぞれ違うので、菌種を決めることが非常に重要である。

結核菌 *M. tuberculosis* H37Rv株はもっとも良く知られた研究室株で、その全塩基配列(4,411kbp)は1999年に解読された。また、強毒牛型菌を長期間培養して弱毒化したBCG(*Bacillus Calmette-Guérin*)は、結核ワクチンとして80年以上にわたり世界中で使われている。

臨床症状

結核の感染経路はほとんど経気道性である。一般にごく少量の結核菌が気道深く侵入し、肺胞内に達し、肺胞マクロファージ中で増殖を始める。マクロファージは細胞内寄生菌に対しては自然抵抗性を持っているが、結核菌のような強毒菌の場合は細胞の抗菌作用は破壊され、菌は増殖してその細胞は死滅し、他のマクロファージによって貪食される経過をとる。さらに菌は増殖を続け、肺に定着し、初感染病巣を形成する。さらに一部の菌は所属リンパ節に運ばれ、リンパ節病巣をつくる。

この間に、マクロファージによって結核菌の抗原提示を受けたTリンパ球が特異的に感作され、免疫が成立する。感作T細胞は抗原刺激によって多種類のインターロイキンを産生し、これによって活性化したマクロファージが結核菌の局在する病巣部分に集積し、類上皮細胞肉芽腫組織となって病巣は被包され、やがて乾酪化に陥る。多くの場合はこのまま治癒し、結核菌に抵抗性を獲得する。

臨床的には、感染の成立は必ずしも感染症としての発病を意味するものではない。疾患としては、胸部X線の異常、排菌などを認めた時に結核症と診断され、治療の対象となる。

初感染時に、菌の毒力が強いのか、または個体の抵抗性が弱いと初期変化が治癒に向かわず、肺門リンパ節結核、頸部リンパ節結核および結核性胸膜炎を発症する。また、リンパ血行性に結核菌が移行すると粟粒結核となり、さらに結核性髄膜炎に進展する。結核菌感染に引き続き初期に発病する結核は一次結核と呼ばれる。

BCGワクチン接種による免疫賦与は、これら結核菌感染後の初期変化がリンパ血行性に進展することを阻止することにより、主として一次結核の発病を抑制するとされる。初感染を経て特異的細胞性免疫が成立したのちにみられる成人の肺結核は、静菌化していた結核菌が冬眠状態(dormancy)から再び増殖(内因性再燃)し、発症することで起こるとされる。一方、成人の肺結核発症において外来性再感染がどれだけ関連しているかは明らかでないが、高齢者やHIV感染者などのように免疫機能の低下がみられる場合や大量の菌の暴露があった場合は、外来性の再感染が発病に結びつくと考えられる。

診 断

診断法としてツベルクリン反応検査、エックス線検査、細菌検査などがある。

ツベルクリン反応検査は結核感染の診断法として有用であり、BCGワクチン接種が行われる際は対象の選択や評価に用いられる。ツベルクリン反応検査に用いられる精製ツベルクリン(PPD)は、結核菌の培養液を加熱滅菌後、菌が分泌した300種類以上のタンパク質を部分精製して得られる。個体が結核菌に感染したり、BCG接種により免疫を獲得していると、ツベルクリンタンパク質抗原の皮内注射によって、局所に発赤と硬結を伴う遅延型アレルギー反応を惹起する。PPD 0.5マイクログラムを皮内注射して48時間後の発赤長径を計測するとき、10mm以上を陽性と判定する。

エックス線検査は結核の発病を診断する方法として、定期健康診断のほか、結核患者が発生した際の接触者検診(ツベルクリン反応とともに)などで実施される。集団感染が疑われるときは、6カ月後、1年後、場合により2年後のエックス線検査が必要となる。

細菌検査のうち、結核の診断をかなり正確に極めて短時間でできる方法として、結核菌の抗酸性を利用した「喀痰塗抹検査」がある。喀痰塗抹検査は感染性の診断ができるほか、簡単な検査でどこでもできること、結果が1時間程度で得られること、経済的に安価であることなどが長所である。一方、この検査では「抗酸菌陽性」というだけで、結核菌か非結核性抗酸菌か鑑別できない。エックス線写真や臨床所見などから抗酸菌症が疑われるときには、結核菌か非結核性抗酸菌症かをはっきりさせることが必要となる。また、死菌と生菌の区別ができない欠点もある。

菌の培養検査は菌の生死を知るほか、薬剤感受性を知るためにも必要である。従来、卵培地(小川培地)や寒天培地などの固形培地が使われていたが、少数の菌を短時間のうちに培養できる液体培地を用いた培養方法の開発が行われてきた。比較的早く開発されたのがバクテック法で、アイトープを使うためわが国では一般化されなかったが、米国などでは広く使われており、結核菌の培養は10日から2週間というのが常識とされている。MGIT法(Mycobacterium Growth Indicator Tube)は少数の菌でも早く検出できる点は優れているが、小川培地法に比べると前処理がやや煩雑とされる。

1970年代後半から分子生物学、遺伝子工学の進歩を受けて遺伝子レベルで菌を検出する技術が次々と開発されてきた。核酸(RNAまたはDNA)を用いた検査法(アクユプローブ、DDHマイコバクテリアなど)は、少量の菌があれば迅速に検出できる感度の良い検査法で、数時間で結果が得られるので、培養結果をみるよりずっと早く結果が分かる。さらにPCR法を用いれば、理論的には1個の菌でも検出が可能である。また、これらの方法では結核菌と非結核性抗酸菌の鑑別ができる。しかし、塗抹検査同様、生菌・死菌の区別なしに検出され、また菌数の多少にかかわらず陽性となるため、「感染性の診断」は不確実となる。

感染者から分離した結核菌DNAを制限酵素で切断後、アガロースゲル電気泳動で分離するRFLP解析により、結核菌群に属する菌の型別が可能となった。この手法は感染源の追跡や疫学調査のうえで重要である。

治療・予防

治療は化学療法が基本である。標準的な化学療法では、最初の2カ月はイソニアニド(INH)+リファンブシン(RFP)、ピラジナミド(PZA)、ストレプトマイシン(SM)またはエタンブトール(EB)の4剤で治療し、その後の4カ月間はINH + RFPの2剤、またはINH + RFP + EBの3剤で治療する。WHOは、治療脱落と多剤耐性結核を防ぐため、DOTS(directly observed treatment, short-

course)によるPZAを含む6カ月間の短期化学療法を推奨している。外科治療は慢性膿胸、骨関節結核、多剤耐性結核などの難治性結核が対象となる。

予防はBCGワクチンによる。BCGはフランス・パスツール研究所のカルメットとゲランが強毒の牛型結核菌を牛胆汁グリセリン馬鈴薯培地で13年間、231代継代して得られた弱毒株で、1921年に初めてヒトに用いられた。現在では、WHOの予防接種拡大計画(EPI)のワクチンのひとつとして多くの国の子供たちに接種されている。わが国には、1924年志賀潔がカルメットから直接分与を受け持ち帰ったとされる。各国に分与されたBCGは、それぞれの国で継代培養する間にカルメットの原株とは異なる遺伝的形質の亜株となったと考えられるが、1960年代以降、各国とも種株の凍結乾燥によって変異防止を図っている。なお、パスツール株BCGは1961年に凍結乾燥されたもので、BCGの原株ではない。

BCG接種は小児の結核性髄膜炎や粟粒結核の発病防止にきわめて有効であるが、成人の肺結核に対する発病予防効果は50%程度とされる。わが国ではBCG接種は、乳幼児期の初回接種のあと、小学校・中学校入学時のツベルクリン反応陰性者に再接種が行われてきたが、平成15年度からは乳幼児期の単回接種となる。

結核予防法における取り扱い

結核と診断した医師は2日以内にもよりの保健所に届け出る。

同居者に感染させるおそれがある患者に、就業を禁止し、あるいは結核療養所に入所を命令することができるとしている。また、結核医療費の公費負担制度がある。

学校保健法における取り扱い

結核は学校保健法の第二種学校伝染病で、病状により伝染のおそれがないと認められるまで出席停止となる。

(国立感染症研究所細菌第二部 山本三郎)



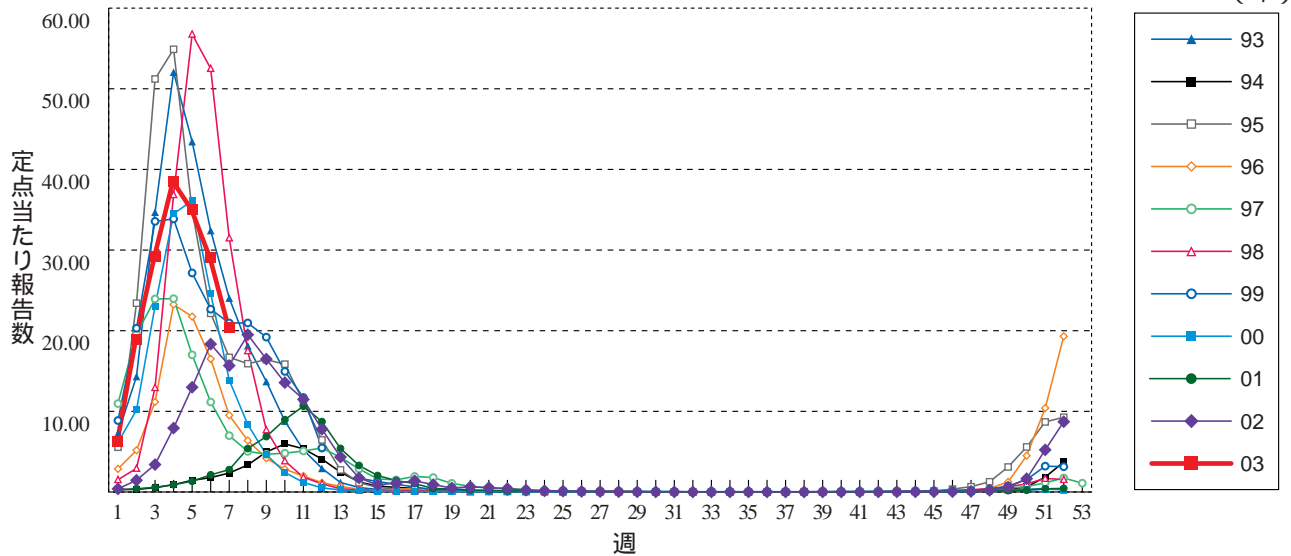
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

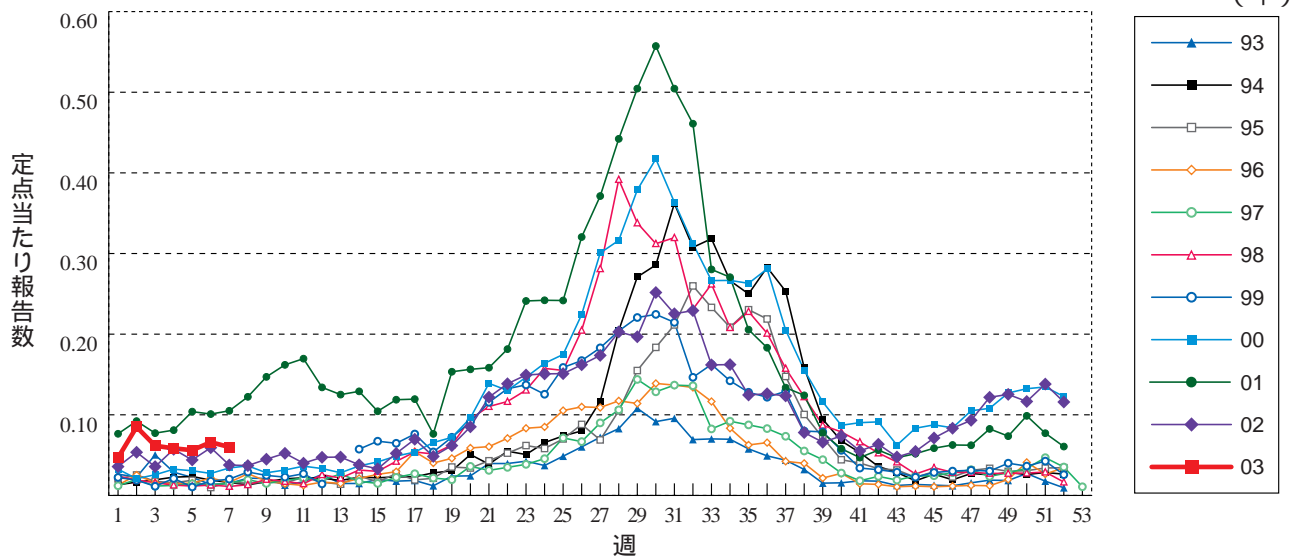
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(7週)

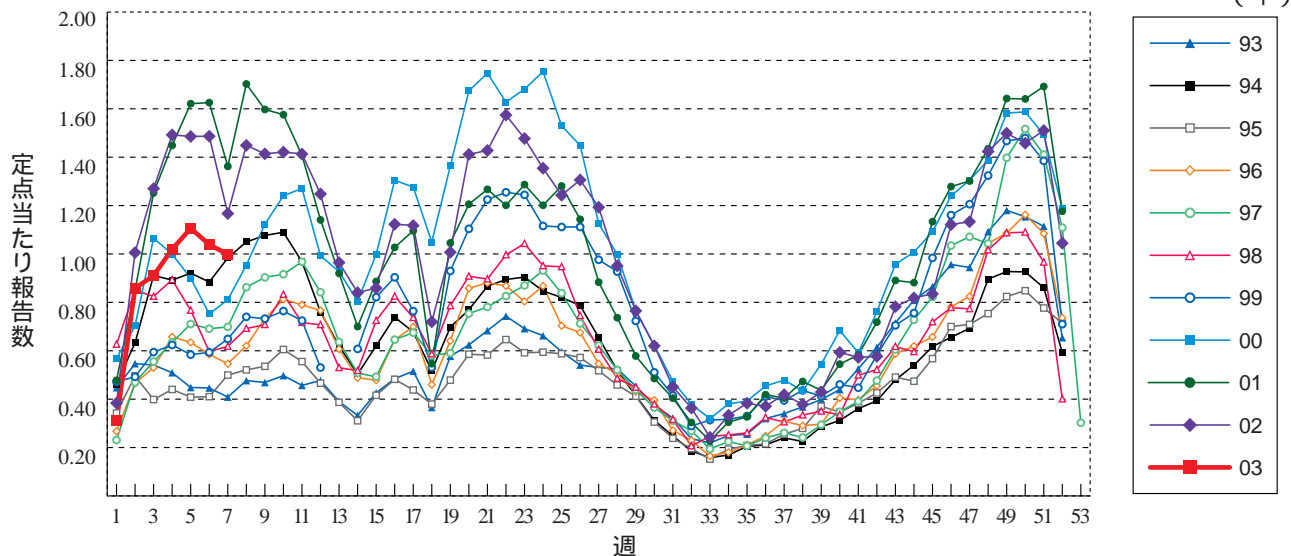
インフルエンザ



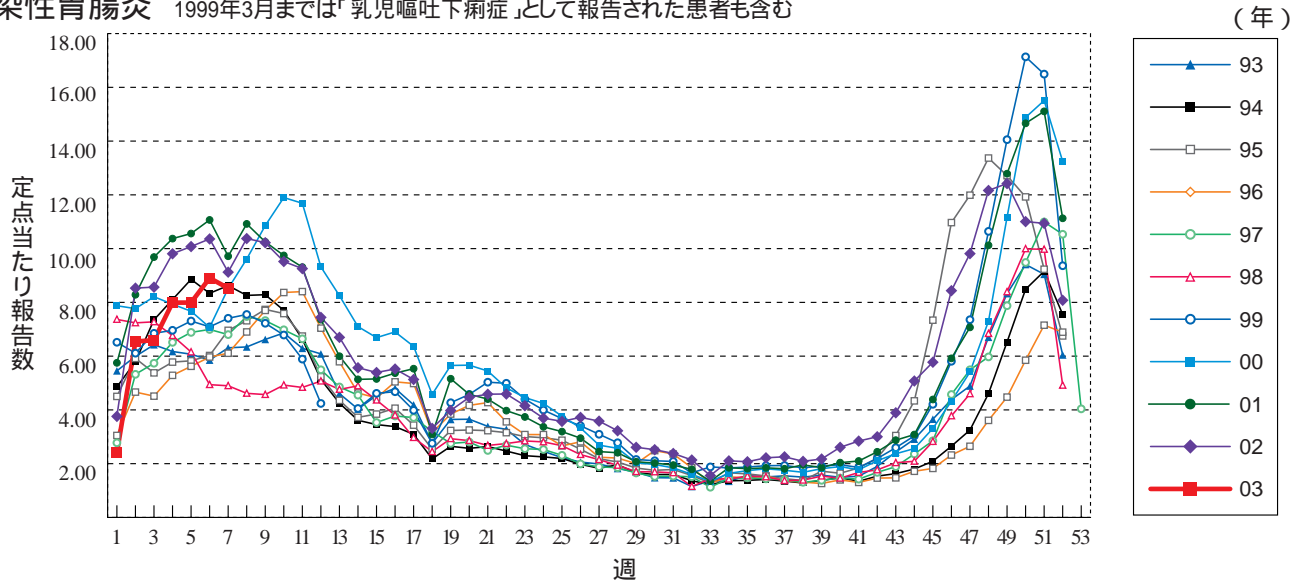
咽頭結膜熱



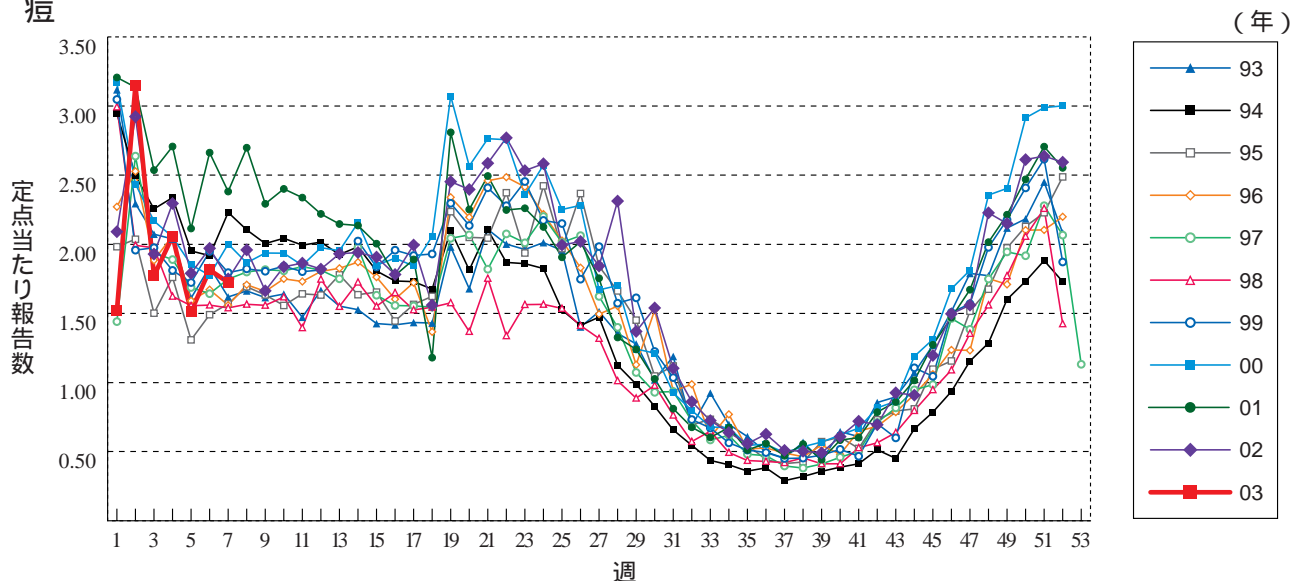
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



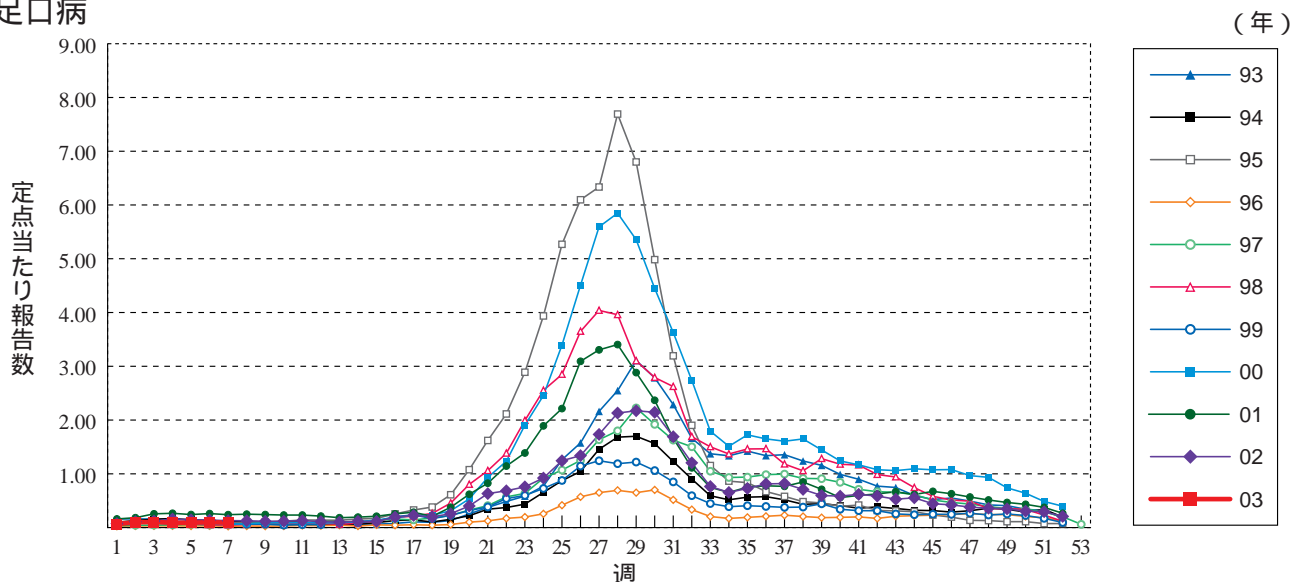
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



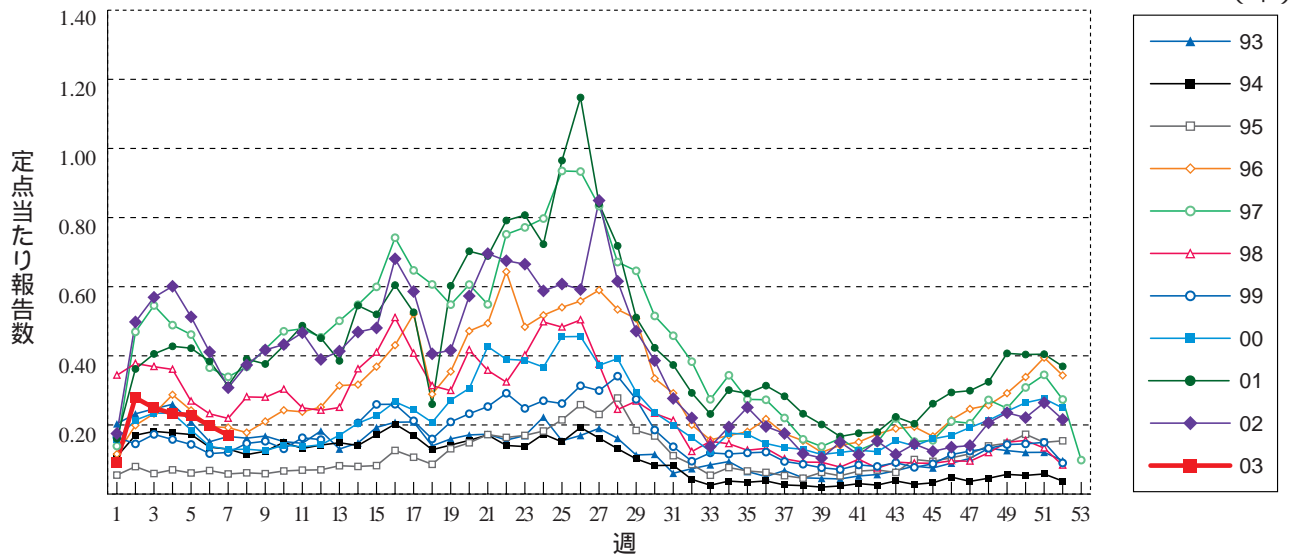
水痘



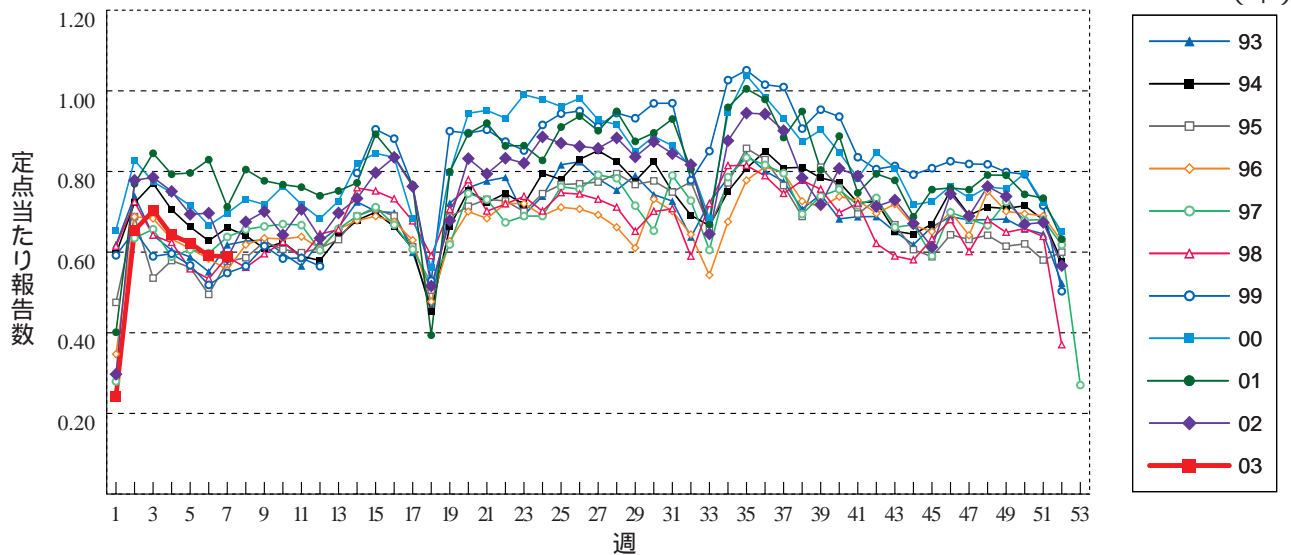
手足口病



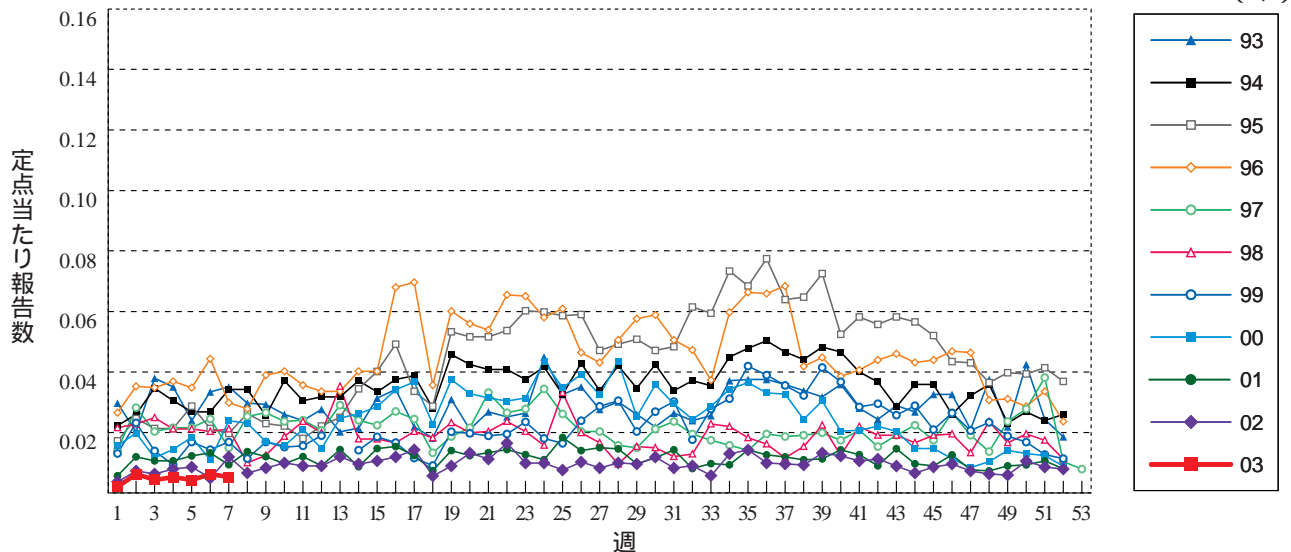
伝染性紅斑



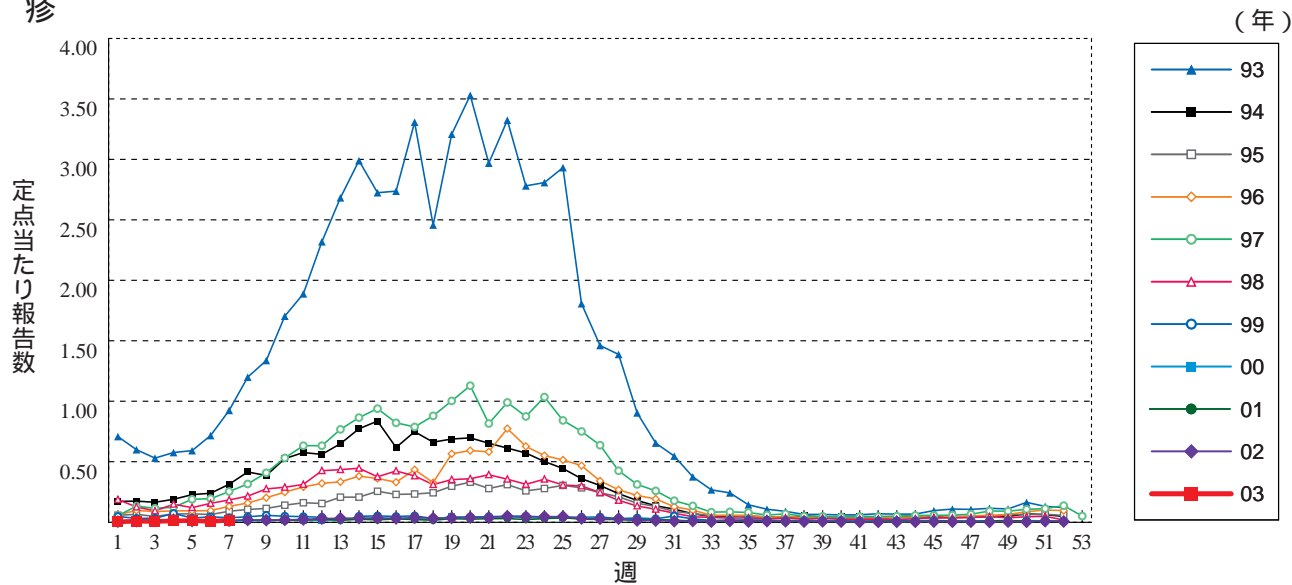
突発性発疹



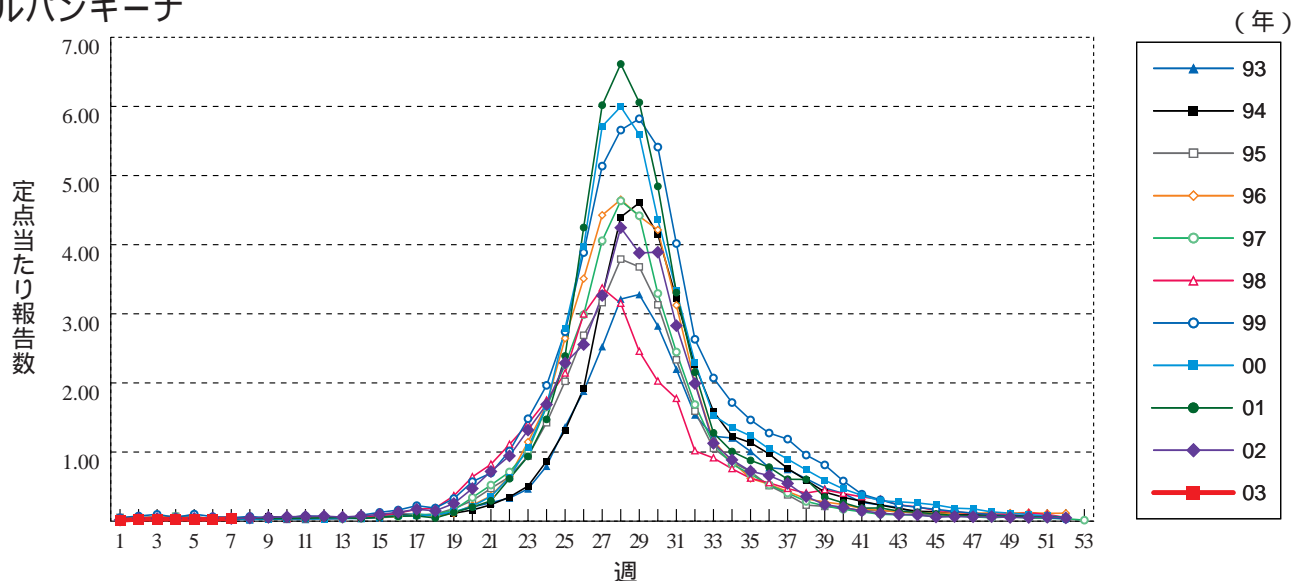
百日咳



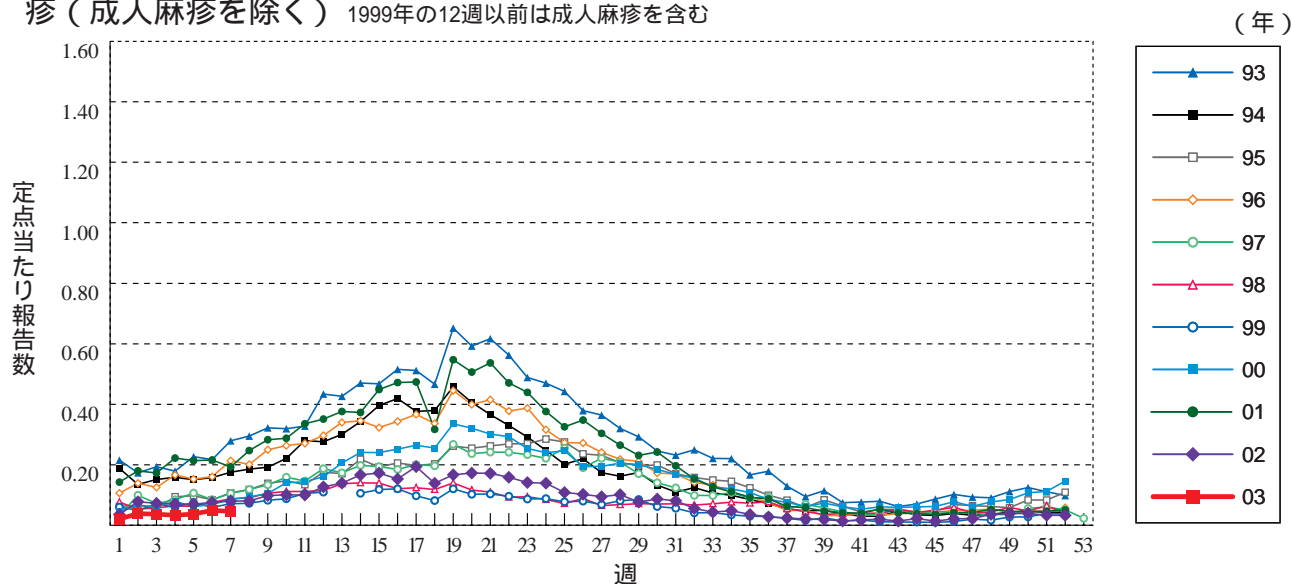
風 疹



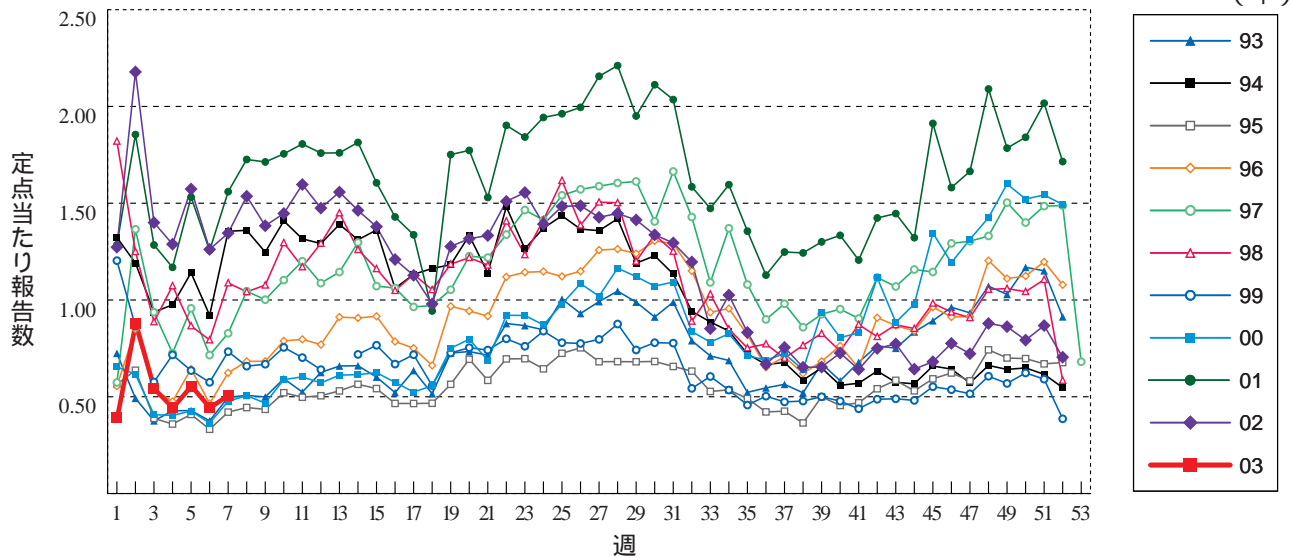
ヘルパンギーナ



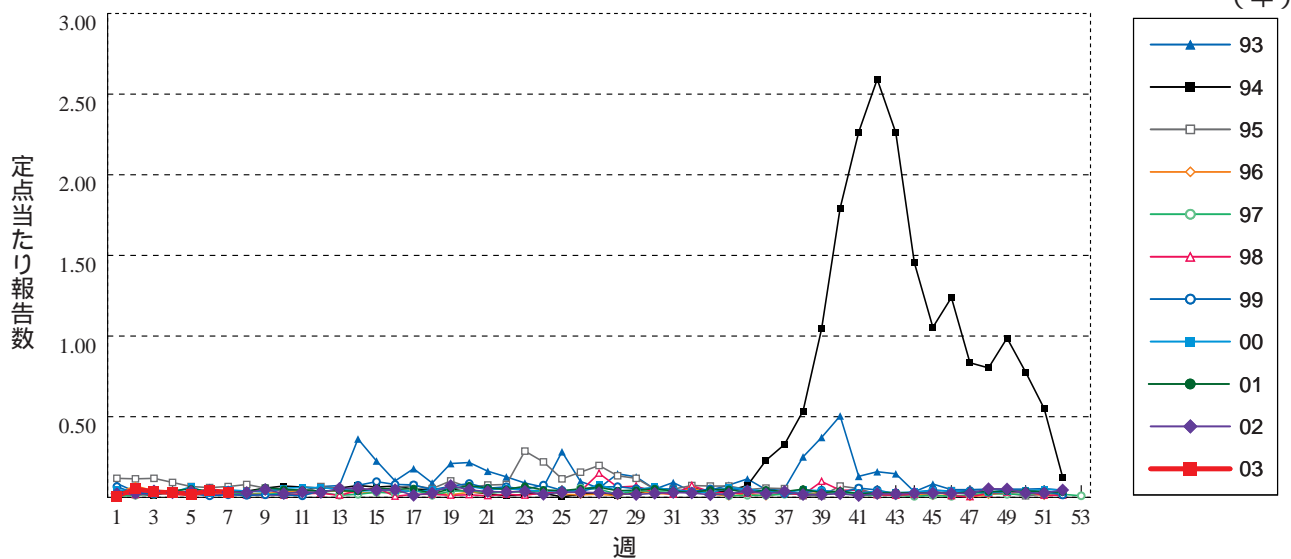
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



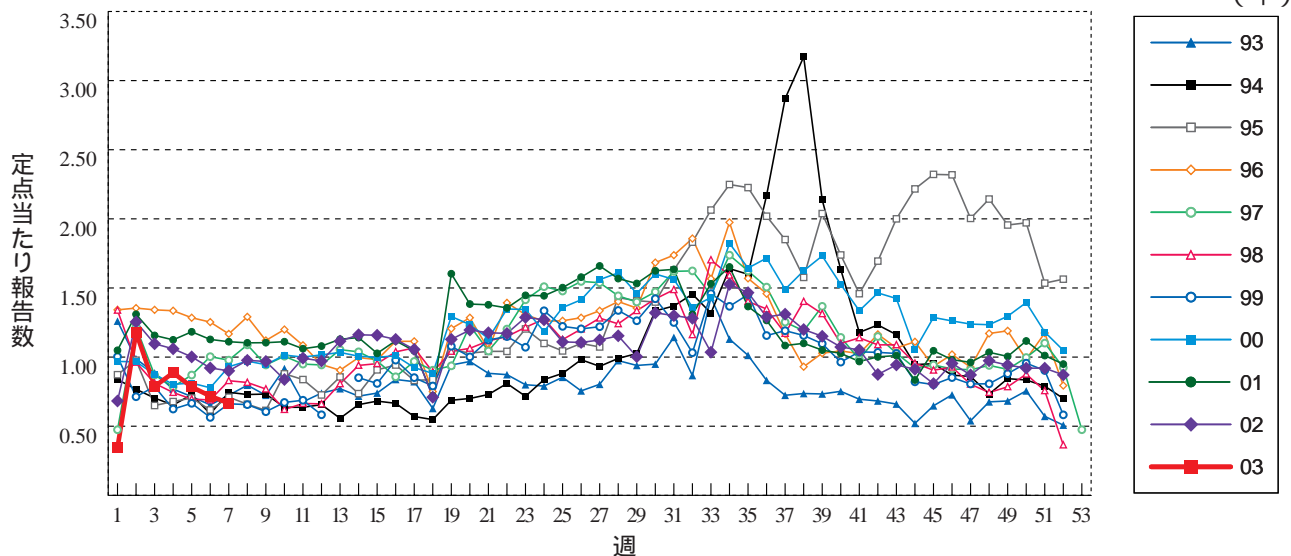
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

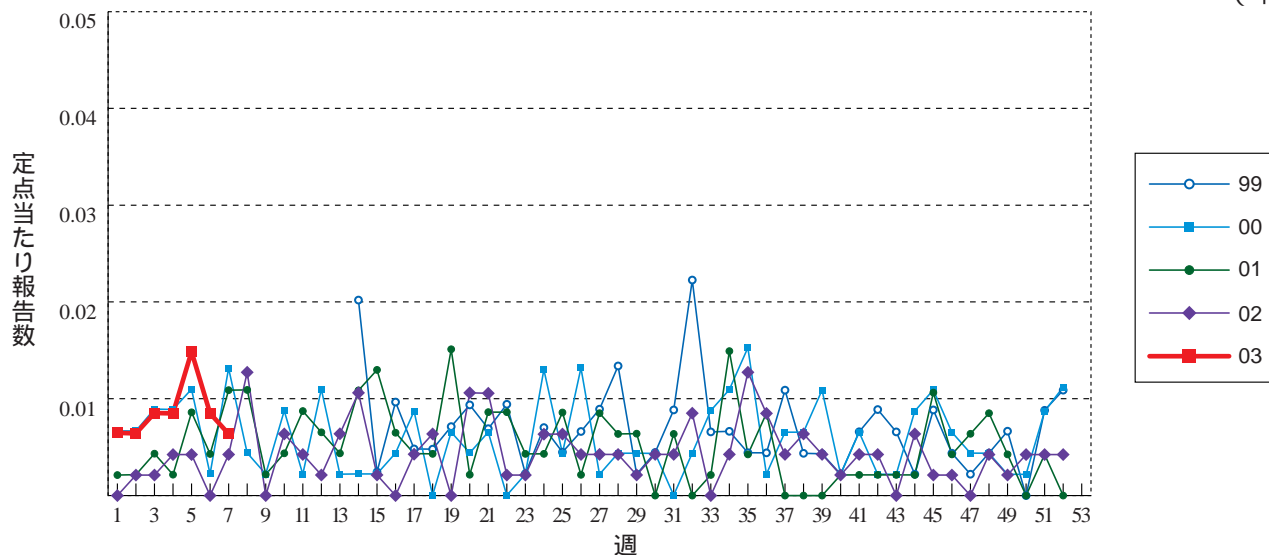


流行性角結膜炎



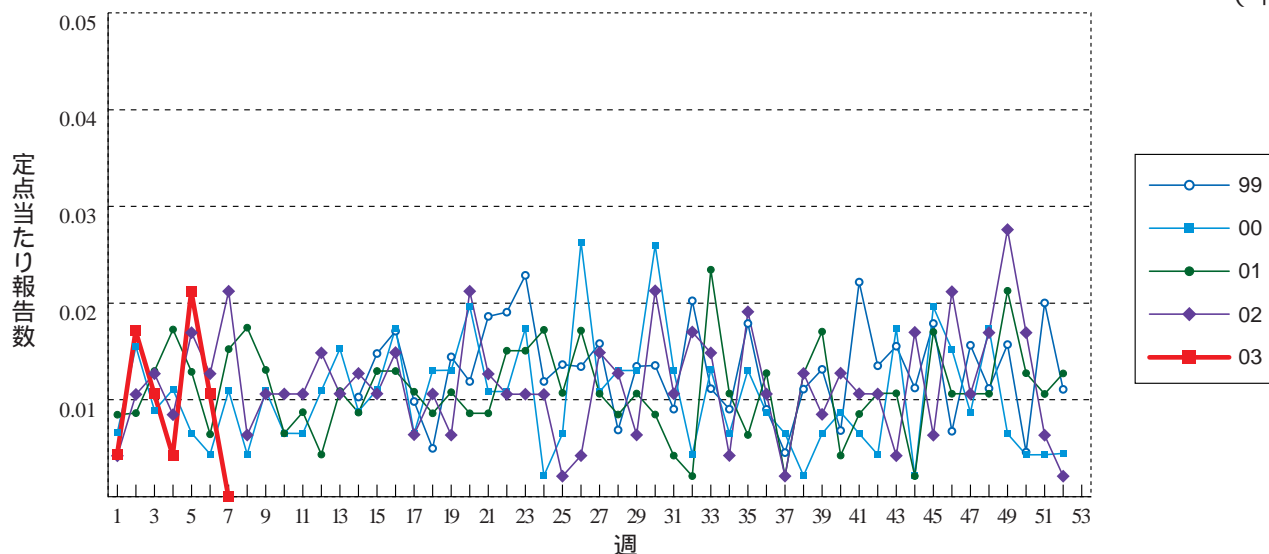
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



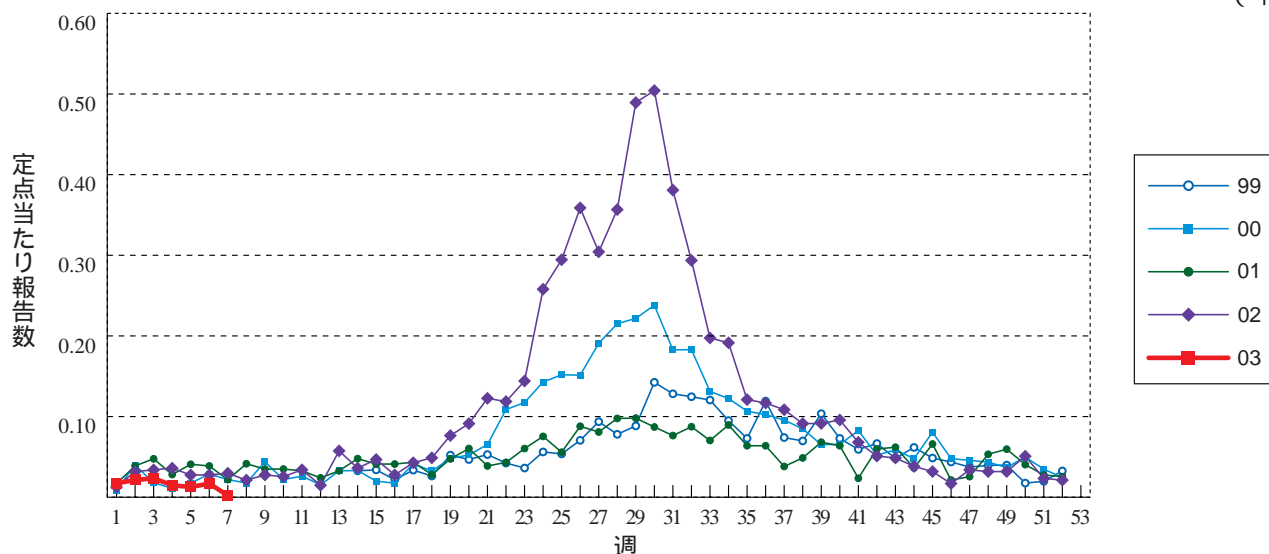
細菌性髄膜炎

(年)



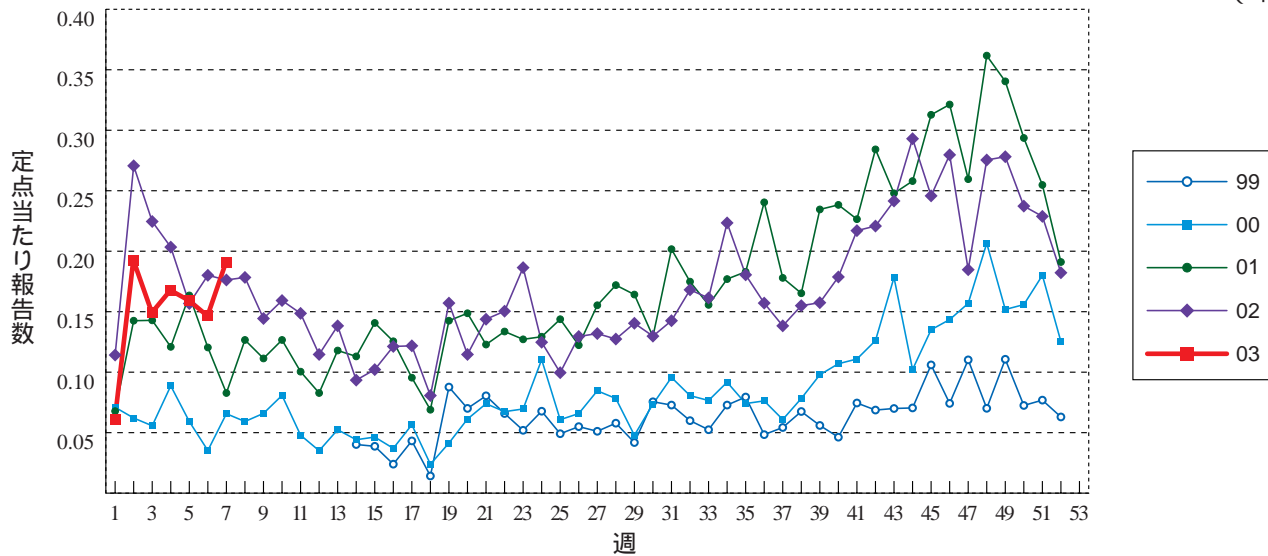
無菌性髄膜炎

(年)



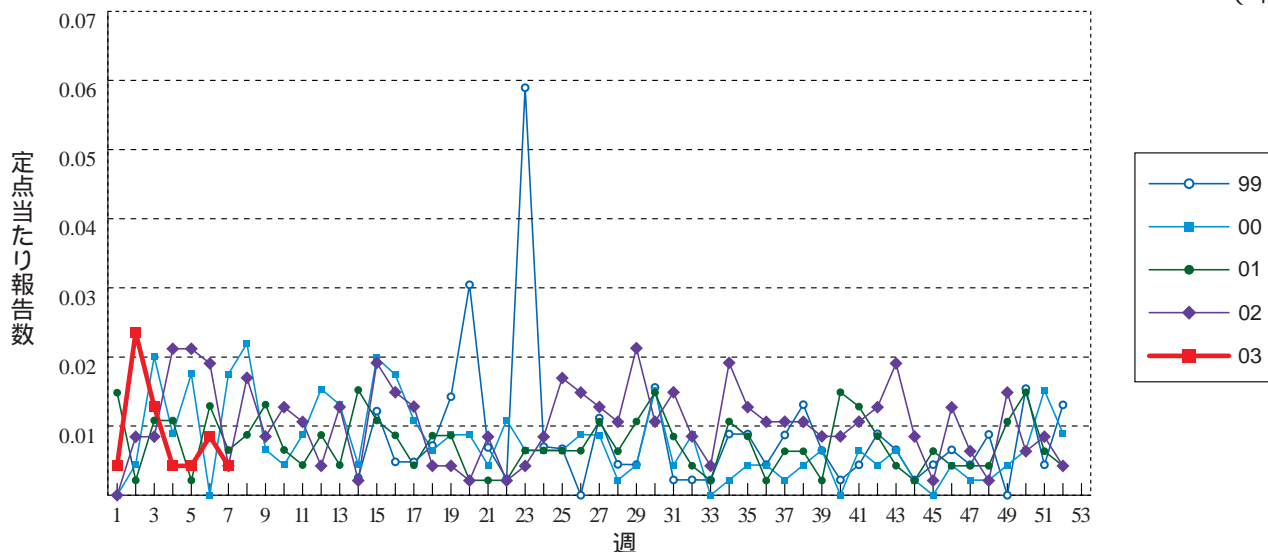
マイコプラズマ肺炎

(年)



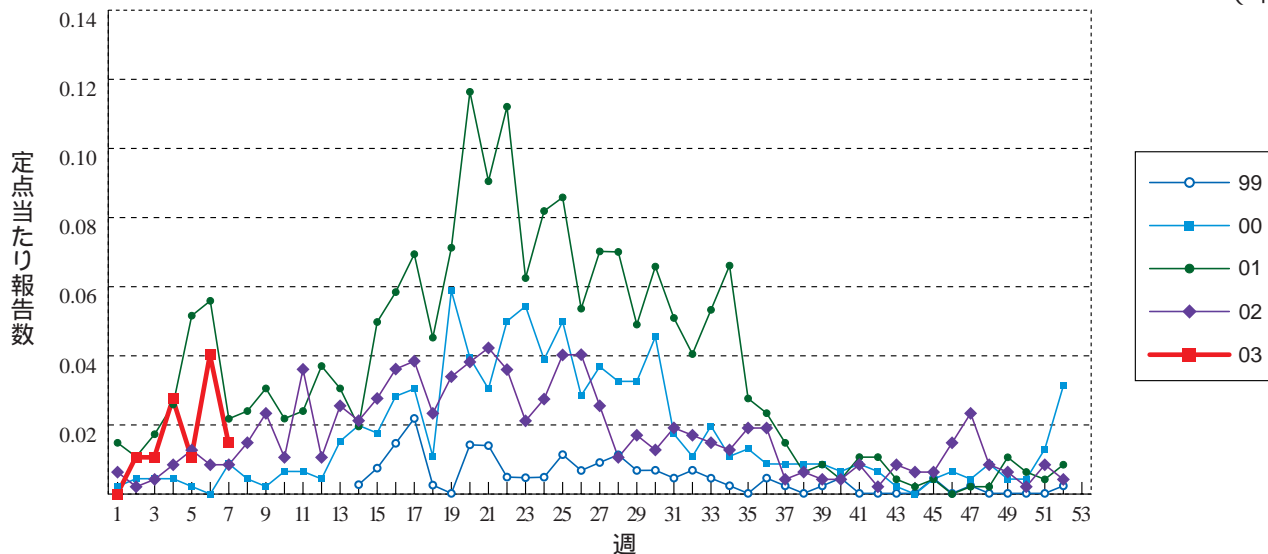
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

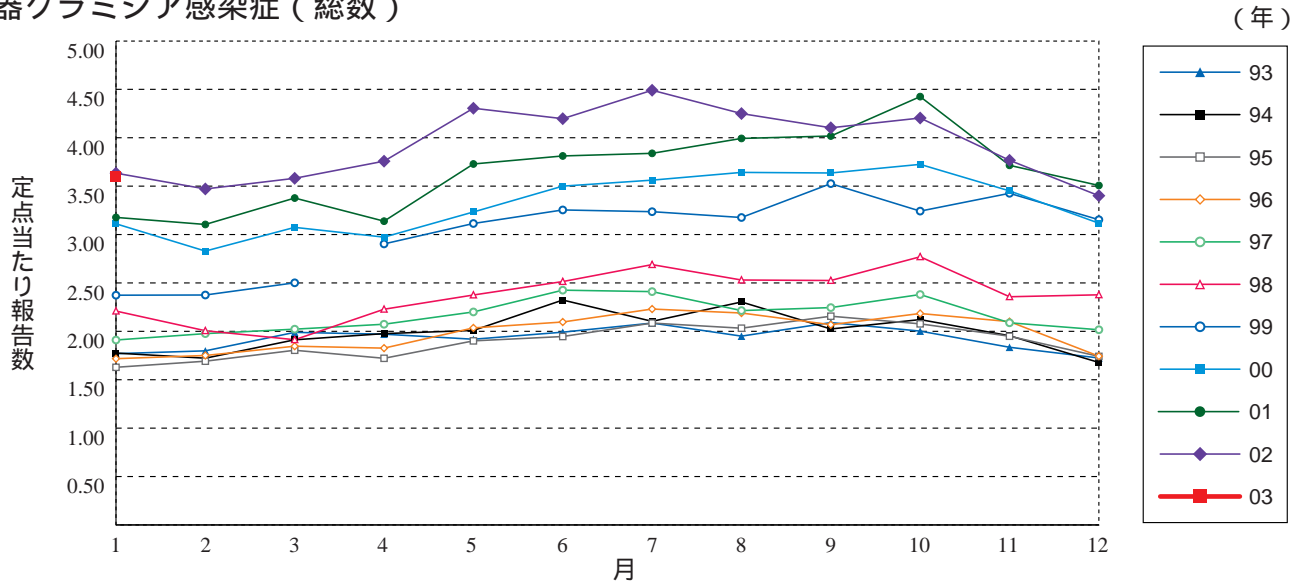




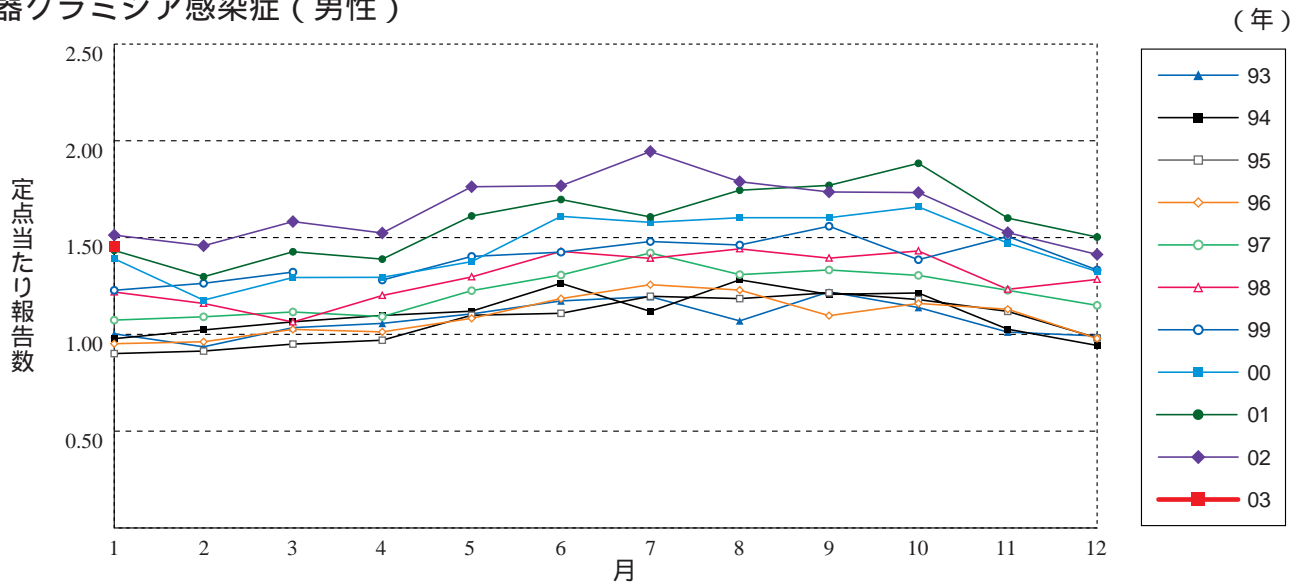
グラフ総覧(1月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

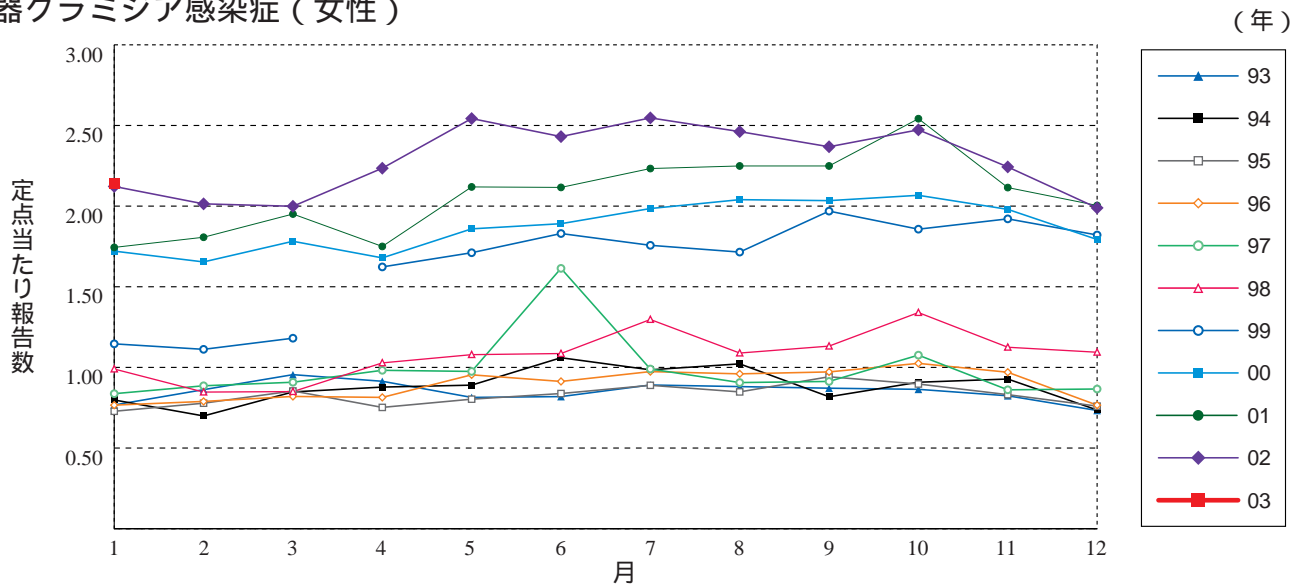
性器クラミジア感染症(総数)



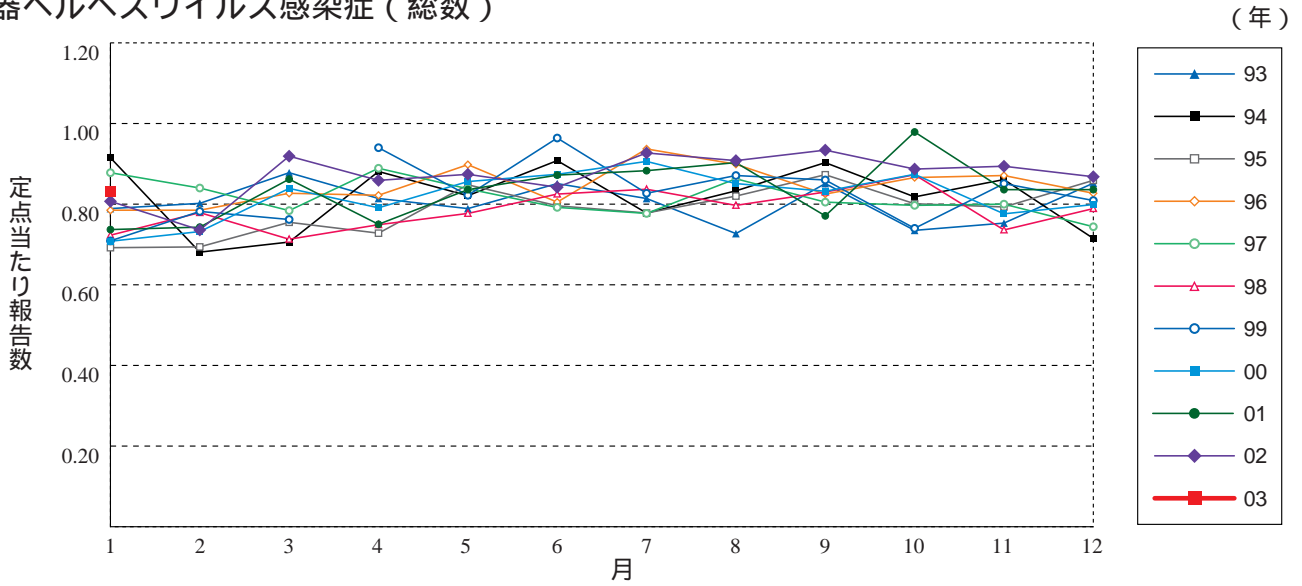
性器クラミジア感染症(男性)



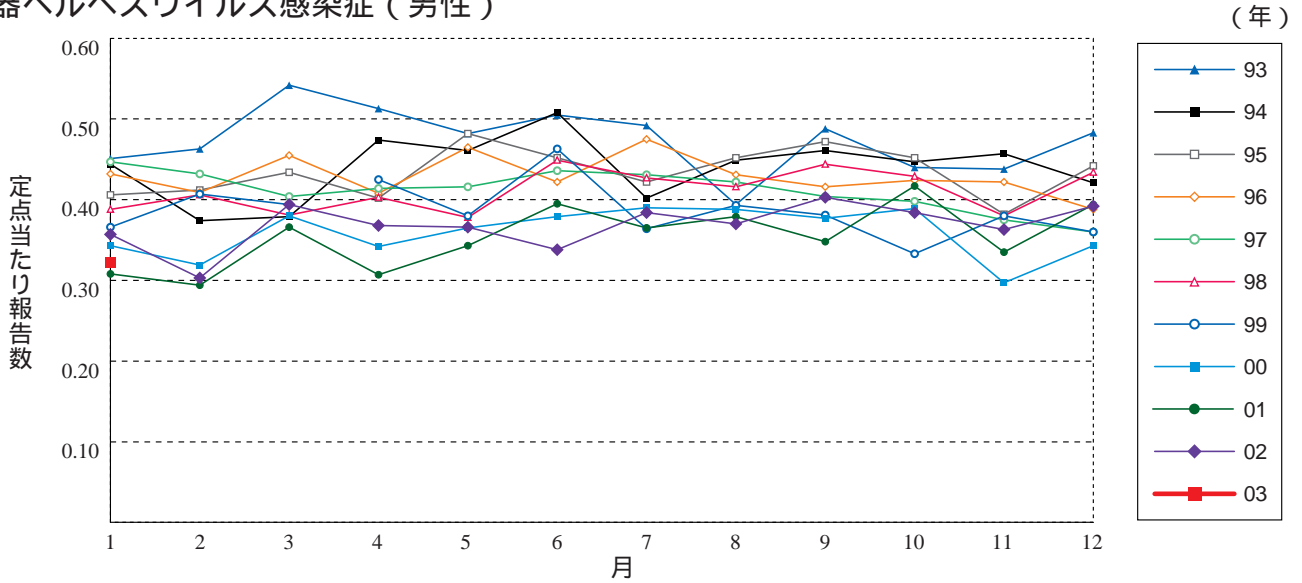
性器クラミジア感染症(女性)



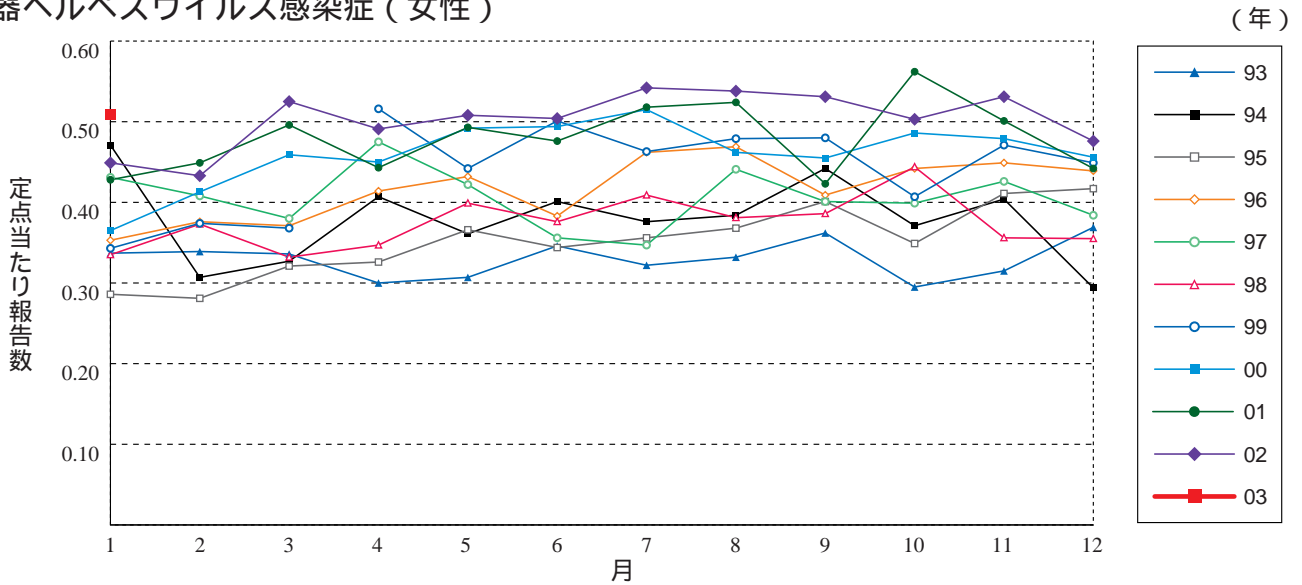
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



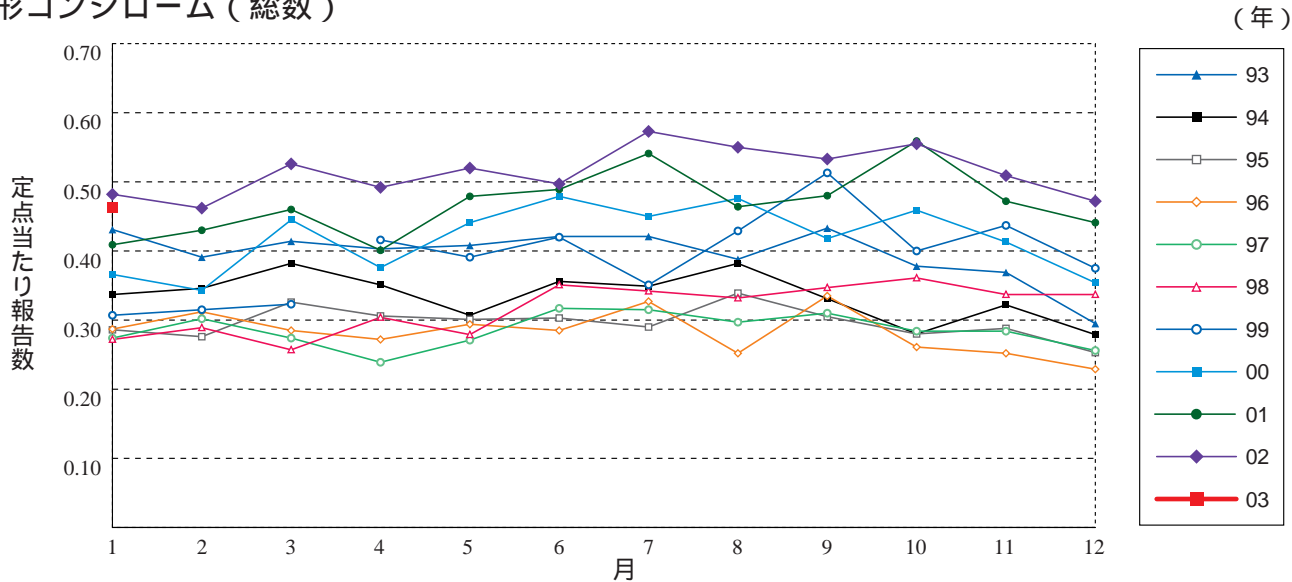
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



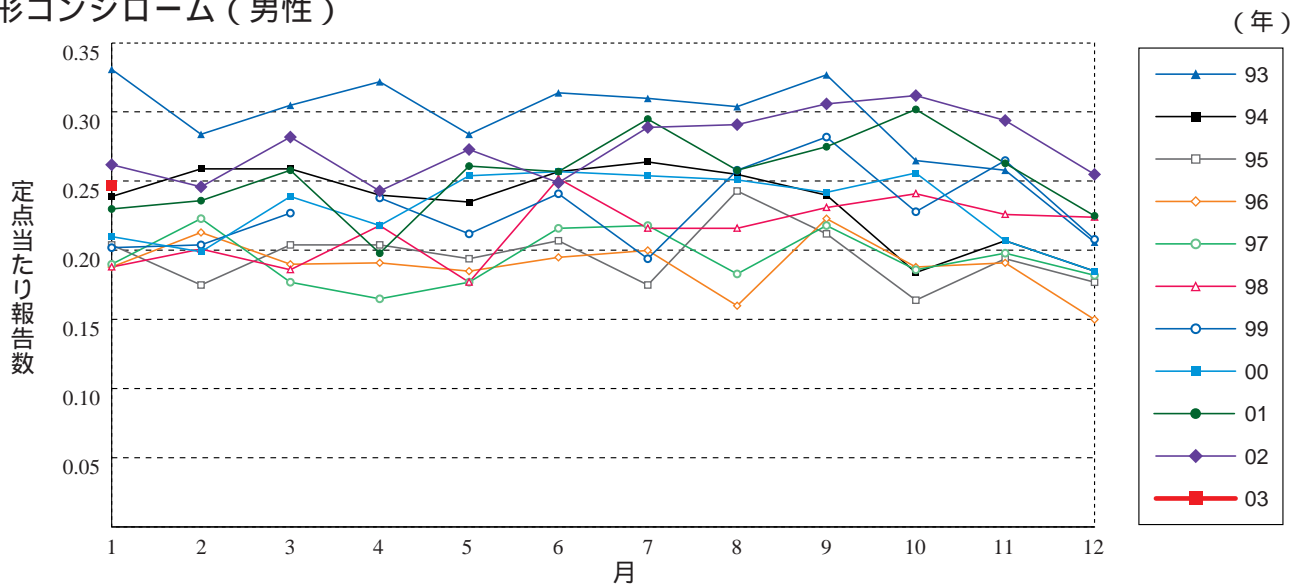
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



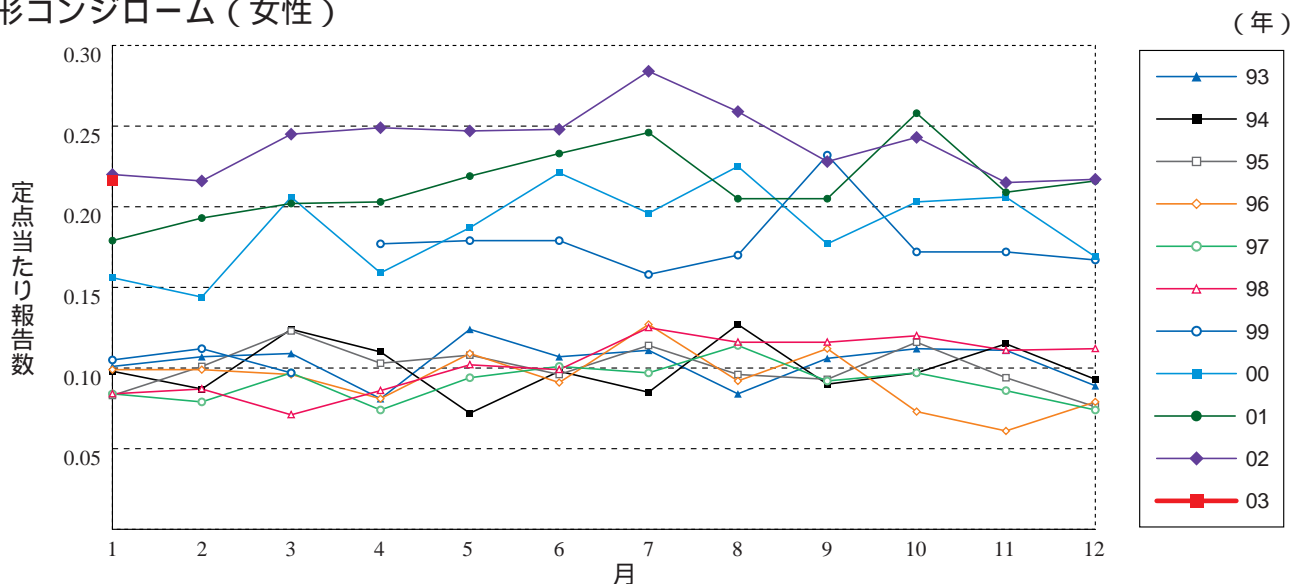
尖形コンジローム (総数)



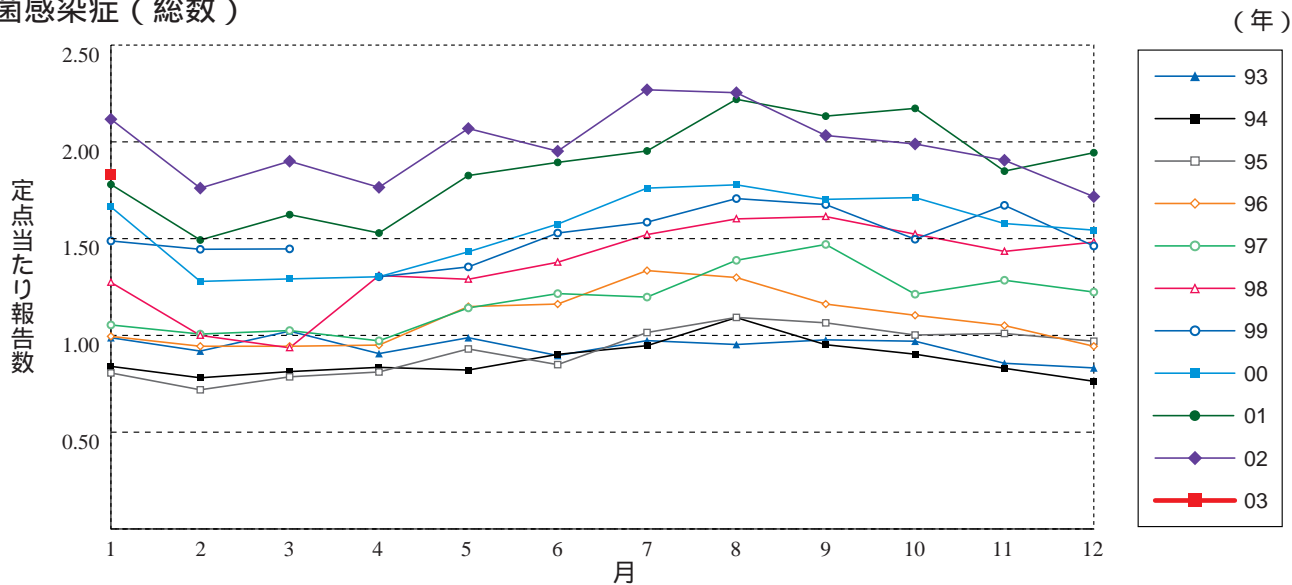
尖形コンジローム (男性)



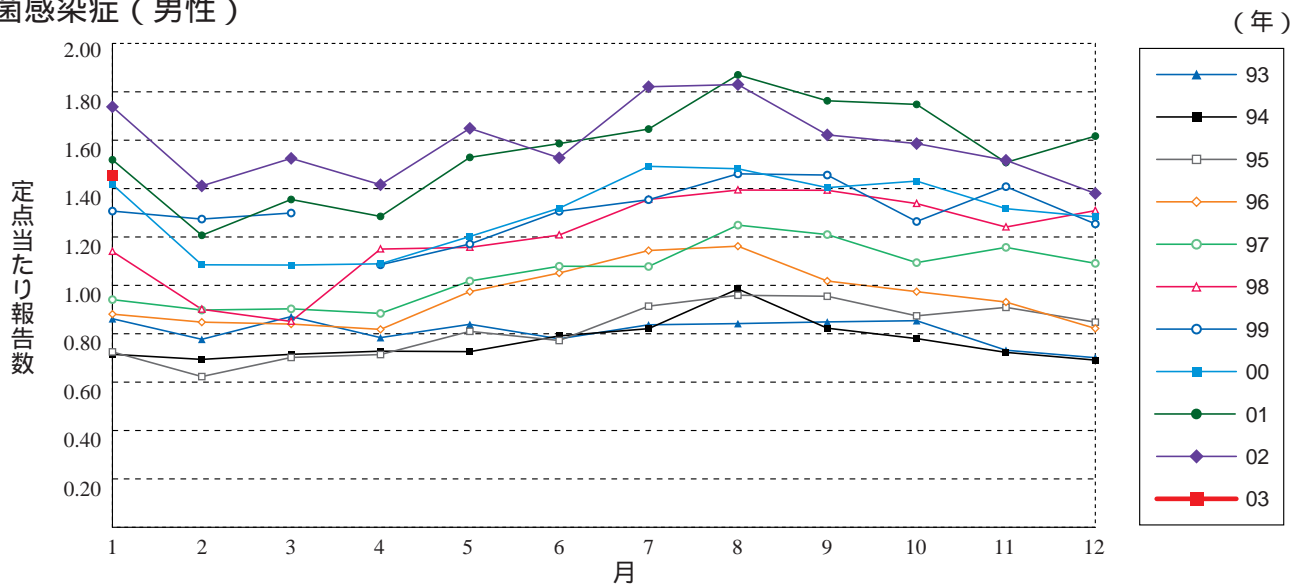
尖形コンジローム (女性)



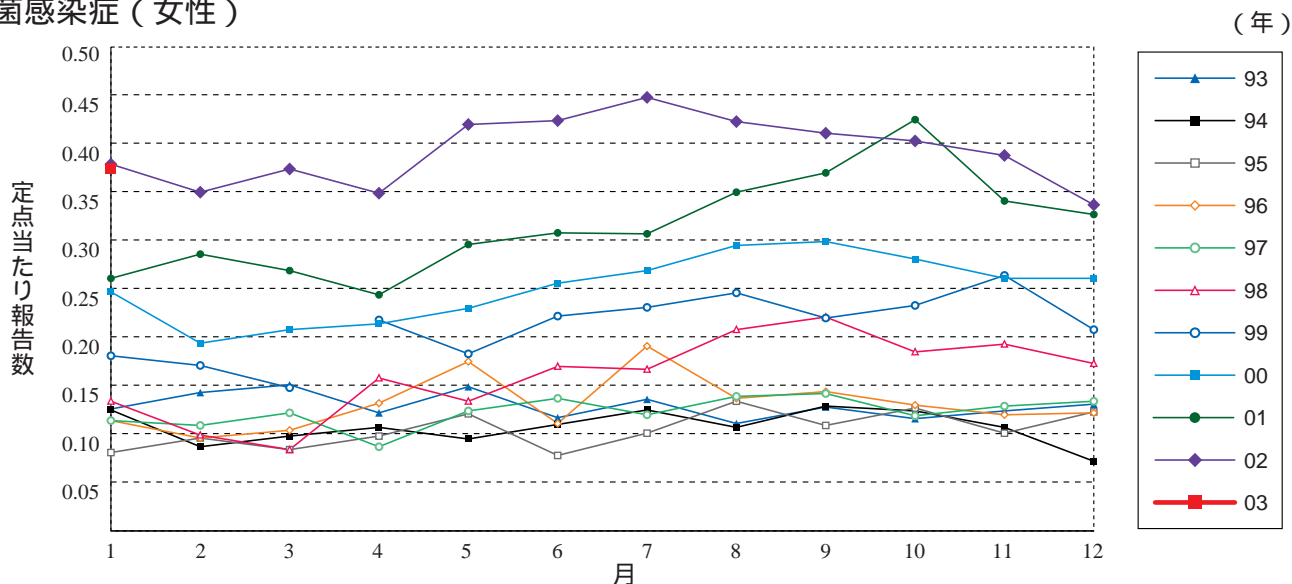
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

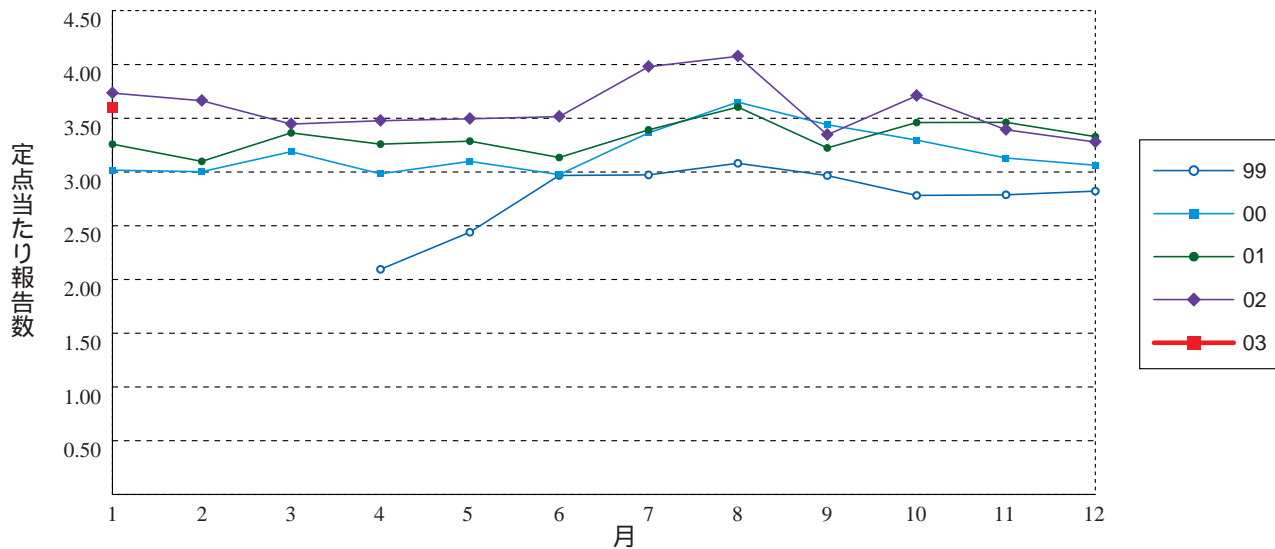


淋菌感染症 (女性)



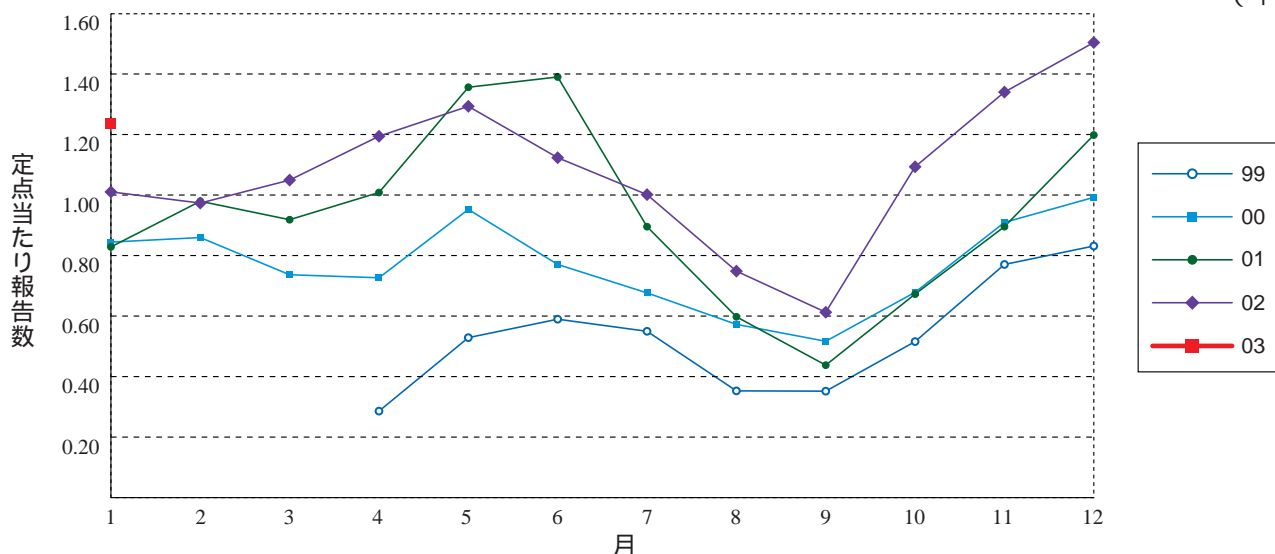
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



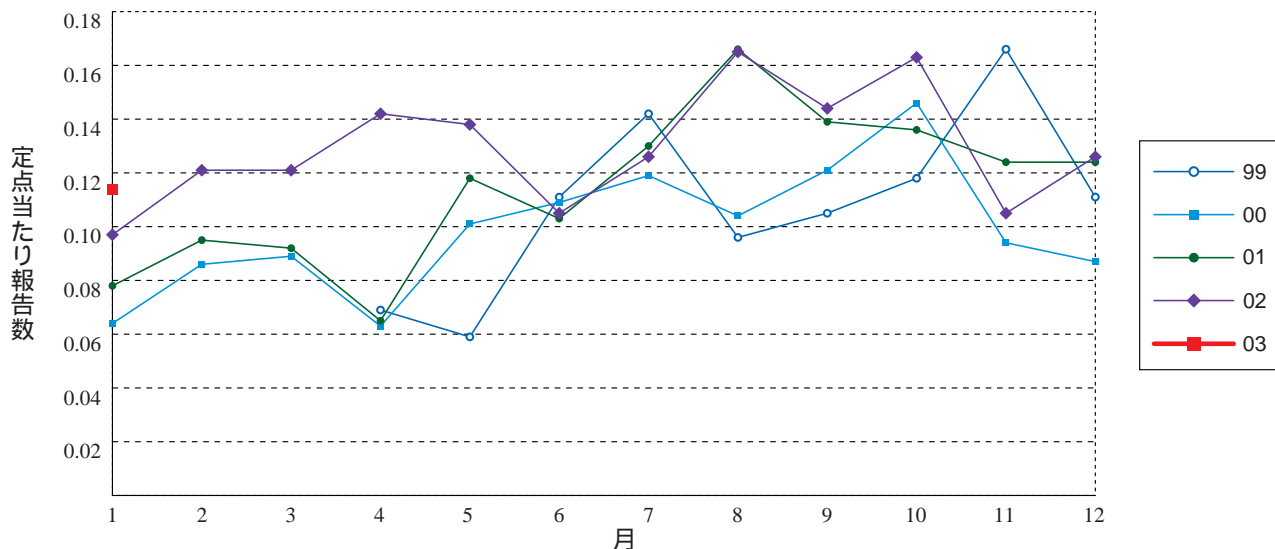
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





1月のデータ

注 2月10日集計分

第3121表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）

平成15年1月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3321	3.60	767	0.83	427	0.46	1690	1.83	1669	3.60	574	1.24	53	0.11
北海道	304	7.07	49	1.14	45	1.05	130	3.02	40	1.74	7	0.30	1	0.04
青森県	58	4.46	8	0.62	5	0.38	16	1.23	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	56	4.31	9	0.69	13	1.00	32	2.46	90	4.50	9	0.45	4	0.20
宮城県	60	3.33	18	1.00	13	0.72	41	2.28	35	2.92	17	1.42	2	0.17
秋田県	19	1.36	1	0.07	-	-	9	0.64	25	3.13	6	0.75	-	-
山形県	29	2.90	1	0.10	-	-	17	1.70	69	6.90	15	1.50	-	-
福島県	52	3.25	4	0.25	5	0.31	44	2.75	4	0.67	-	-	-	-
茨城県	73	3.48	9	0.43	5	0.24	45	2.14	15	1.36	-	-	-	-
栃木県	46	2.88	1	0.06	4	0.25	11	0.69	34	4.86	2	0.29	-	-
群馬県	150	6.00	8	0.32	11	0.44	38	1.52	35	3.50	4	0.40	-	-
埼玉県	205	4.02	28	0.55	14	0.27	62	1.22	25	2.78	2	0.22	4	0.44
千葉県	130	3.42	32	0.84	8	0.21	59	1.55	52	5.78	80	8.89	1	0.11
東京都	209	5.10	93	2.27	38	0.93	115	2.80	157	6.28	44	1.76	13	0.52
神奈川県	132	2.20	31	0.52	14	0.23	66	1.10	18	1.64	20	1.82	-	-
新潟県	32	1.60	10	0.50	8	0.40	35	1.75	41	3.42	19	1.58	-	-
富山県	12	1.71	2	0.29	2	0.29	8	1.14	36	7.20	24	4.80	1	0.20
石川県	28	2.80	7	0.70	1	0.10	13	1.30	4	0.80	7	1.40	-	-
福井県	10	2.00	2	0.40	1	0.20	9	1.80	26	4.33	9	1.50	-	-
山梨県	15	2.50	1	0.17	-	-	2	0.33	26	2.60	13	1.30	-	-
長野県	56	3.50	7	0.44	11	0.69	14	0.88	43	3.91	10	0.91	-	-
岐阜県	31	2.07	2	0.13	8	0.53	27	1.80	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	69	2.30	15	0.50	11	0.37	22	0.73	60	6.00	25	2.50	1	0.10
愛知県	154	3.02	31	0.61	28	0.55	138	2.71	62	4.77	-	-	-	-
三重県	26	1.73	12	0.80	1	0.07	11	0.73	38	4.22	2	0.22	-	-
滋賀県	10	1.11	1	0.11	1	0.11	14	1.56	45	6.43	1	0.14	-	-
京都府	159	7.23	13	0.59	2	0.09	9	0.41	10	1.67	-	-	-	-
大阪府	256	4.34	158	2.68	57	0.97	227	3.85	36	2.57	28	2.00	2	0.14
兵庫県	119	2.59	21	0.46	22	0.48	50	1.09	41	2.93	10	0.71	1	0.07
奈良県	15	1.67	7	0.78	4	0.44	14	1.56	35	7.00	6	1.20	-	-
和歌山県	8	1.00	8	1.00	2	0.25	6	0.75	35	3.18	7	0.64	2	0.18
鳥取県	13	2.60	-	-	-	-	7	1.40	18	3.60	-	-	-	-
島根県	7	1.17	2	0.33	-	-	5	0.83	41	5.13	23	2.88	-	-
岡山県	71	4.18	11	0.65	9	0.53	59	3.47	9	2.25	4	1.00	1	0.25
広島県	57	2.11	12	0.44	14	0.52	26	0.96	89	4.24	59	2.81	7	0.33
山口県	25	2.08	10	0.83	4	0.33	18	1.50	44	5.50	18	2.25	3	0.38
徳島県	4	0.67	-	-	1	0.17	1	0.17	11	1.57	-	-	-	-
香川県	22	2.44	4	0.44	4	0.44	9	1.00	27	5.40	8	1.60	-	-
愛媛県	28	2.55	5	0.45	6	0.55	11	1.00	13	2.17	-	-	3	0.50
高知県	4	0.67	-	-	1	0.17	1	0.17	59	8.43	44	6.29	-	-
福岡県	241	6.51	54	1.46	27	0.73	137	3.70	21	1.31	4	0.25	-	-
佐賀県	22	3.14	6	0.86	-	-	28	4.00	26	4.33	8	1.33	3	0.50
長崎県	20	2.00	12	1.20	6	0.60	10	1.00	4	0.40	1	0.10	1	0.10
熊本県	77	5.50	25	1.79	6	0.43	26	1.86	74	4.93	7	0.47	1	0.07
大分県	13	1.30	8	0.80	2	0.20	9	0.90	28	2.80	21	2.10	2	0.20
宮崎県	58	5.27	11	1.00	1	0.09	20	1.82	21	3.00	3	0.43	-	-
鹿児島県	61	3.81	15	0.94	7	0.44	29	1.81	14	1.17	4	0.33	-	-
沖縄県	75	6.25	3	0.25	5	0.42	10	0.83	21	3.00	3	0.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (男)

平成15年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1343	1.46	297	0.32	228	0.25	1344	1.46	1101	2.37	318	0.69	45	0.10
北海道	76	1.77	9	0.21	19	0.44	65	1.51	26	1.13	5	0.22	1	0.04
青森県	19	1.46	5	0.38	3	0.23	12	0.92	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	1	0.08	5	0.38	25	1.92	63	3.15	5	0.25	2	0.10
宮城県	20	1.11	8	0.44	10	0.56	35	1.94	25	2.08	11	0.92	1	0.08
秋田県	7	0.50	-	-	-	-	8	0.57	20	2.50	3	0.38	-	-
山形県	17	1.70	-	-	-	-	15	1.50	43	4.30	10	1.00	-	-
福島県	23	1.44	1	0.06	-	-	38	2.38	2	0.33	-	-	-	-
茨城県	40	1.90	6	0.29	2	0.10	41	1.95	11	1.00	-	-	-	-
栃木県	11	0.69	-	-	3	0.19	8	0.50	26	3.71	2	0.29	-	-
群馬県	83	3.32	-	-	3	0.12	27	1.08	22	2.20	3	0.30	-	-
埼玉県	69	1.35	9	0.18	9	0.18	52	1.02	18	2.00	1	0.11	3	0.33
千葉県	66	1.74	9	0.24	5	0.13	54	1.42	32	3.56	47	5.22	1	0.11
東京都	104	2.54	38	0.93	25	0.61	83	2.02	106	4.24	20	0.80	11	0.44
神奈川県	73	1.22	16	0.27	9	0.15	61	1.02	14	1.27	12	1.09	-	-
新潟県	19	0.95	8	0.40	7	0.35	30	1.50	29	2.42	12	1.00	-	-
富山県	5	0.71	-	-	-	-	7	1.00	18	3.60	15	3.00	1	0.20
石川県	17	1.70	3	0.30	-	-	9	0.90	3	0.60	4	0.80	-	-
福井県	2	0.40	2	0.40	1	0.20	8	1.60	16	2.67	5	0.83	-	-
山梨県	3	0.50	-	-	-	-	1	0.17	16	1.60	8	0.80	-	-
長野県	23	1.44	3	0.19	3	0.19	11	0.69	24	2.18	5	0.45	-	-
岐阜県	23	1.53	2	0.13	6	0.40	24	1.60	4	0.80	-	-	-	-
静岡県	18	0.60	2	0.07	2	0.07	14	0.47	36	3.60	13	1.30	1	0.10
愛知県	74	1.45	18	0.35	24	0.47	128	2.51	44	3.38	-	-	-	-
三重県	10	0.67	6	0.40	1	0.07	10	0.67	26	2.89	2	0.22	-	-
滋賀県	2	0.22	-	-	-	-	11	1.22	27	3.86	1	0.14	-	-
京都府	11	0.50	2	0.09	2	0.09	2	0.09	8	1.33	-	-	-	-
大阪府	102	1.73	79	1.34	38	0.64	175	2.97	22	1.57	20	1.43	2	0.14
兵庫県	61	1.33	5	0.11	14	0.30	48	1.04	30	2.14	6	0.43	1	0.07
奈良県	10	1.11	5	0.56	1	0.11	13	1.44	26	5.20	2	0.40	-	-
和歌山県	4	0.50	3	0.38	2	0.25	6	0.75	27	2.45	-	-	2	0.18
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-	7	1.40	12	2.40	-	-	-	-
島根県	6	1.00	1	0.17	-	-	5	0.83	27	3.38	8	1.00	-	-
岡山県	26	1.53	4	0.24	5	0.29	44	2.59	5	1.25	3	0.75	1	0.25
広島県	23	0.85	6	0.22	2	0.07	22	0.81	55	2.62	33	1.57	7	0.33
山口県	9	0.75	2	0.17	2	0.17	13	1.08	30	3.75	12	1.50	3	0.38
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.86	-	-	-	-
香川県	7	0.78	2	0.22	3	0.33	7	0.78	16	3.20	4	0.80	-	-
愛媛県	6	0.55	1	0.09	3	0.27	10	0.91	9	1.50	-	-	2	0.33
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	40	5.71	17	2.43	-	-
福岡県	122	3.30	13	0.35	9	0.24	107	2.89	15	0.94	2	0.13	-	-
佐賀県	22	3.14	2	0.29	-	-	27	3.86	19	3.17	5	0.83	2	0.33
長崎県	7	0.70	2	0.20	1	0.10	5	0.50	3	0.30	1	0.10	1	0.10
熊本県	18	1.29	11	0.79	3	0.21	18	1.29	45	3.00	4	0.27	1	0.07
大分県	6	0.60	2	0.20	1	0.10	8	0.80	13	1.30	12	1.20	2	0.20
宮崎県	32	2.91	3	0.27	1	0.09	18	1.64	13	1.86	2	0.29	-	-
鹿児島県	36	2.25	8	0.50	3	0.19	28	1.75	9	0.75	2	0.17	-	-
沖縄県	3	0.25	-	-	1	0.08	3	0.25	15	2.14	1	0.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成15年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1978	2.14	470	0.51	199	0.22	346	0.37	568	1.22	256	0.55	8	0.02
北海道	228	5.30	40	0.93	26	0.60	65	1.51	14	0.61	2	0.09	-	-
青森県	39	3.00	3	0.23	2	0.15	4	0.31	-	-	-	-	-	-
岩手県	33	2.54	8	0.62	8	0.62	7	0.54	27	1.35	4	0.20	2	0.10
宮城県	40	2.22	10	0.56	3	0.17	6	0.33	10	0.83	6	0.50	1	0.08
秋田県	12	0.86	1	0.07	-	-	1	0.07	5	0.63	3	0.38	-	-
山形県	12	1.20	1	0.10	-	-	2	0.20	26	2.60	5	0.50	-	-
福島県	29	1.81	3	0.19	5	0.31	6	0.38	2	0.33	-	-	-	-
茨城県	33	1.57	3	0.14	3	0.14	4	0.19	4	0.36	-	-	-	-
栃木県	35	2.19	1	0.06	1	0.06	3	0.19	8	1.14	-	-	-	-
群馬県	67	2.68	8	0.32	8	0.32	11	0.44	13	1.30	1	0.10	-	-
埼玉県	136	2.67	19	0.37	5	0.10	10	0.20	7	0.78	1	0.11	1	0.11
千葉県	64	1.68	23	0.61	3	0.08	5	0.13	20	2.22	33	3.67	-	-
東京都	105	2.56	55	1.34	13	0.32	32	0.78	51	2.04	24	0.96	2	0.08
神奈川県	59	0.98	15	0.25	5	0.08	5	0.08	4	0.36	8	0.73	-	-
新潟県	13	0.65	2	0.10	1	0.05	5	0.25	12	1.00	7	0.58	-	-
富山県	7	1.00	2	0.29	2	0.29	1	0.14	18	3.60	9	1.80	-	-
石川県	11	1.10	4	0.40	1	0.10	4	0.40	1	0.20	3	0.60	-	-
福井県	8	1.60	-	-	-	-	1	0.20	10	1.67	4	0.67	-	-
山梨県	12	2.00	1	0.17	-	-	1	0.17	10	1.00	5	0.50	-	-
長野県	33	2.06	4	0.25	8	0.50	3	0.19	19	1.73	5	0.45	-	-
岐阜県	8	0.53	-	-	2	0.13	3	0.20	3	0.60	-	-	-	-
静岡県	51	1.70	13	0.43	9	0.30	8	0.27	24	2.40	12	1.20	-	-
愛知県	80	1.57	13	0.25	4	0.08	10	0.20	18	1.38	-	-	-	-
三重県	16	1.07	6	0.40	-	-	1	0.07	12	1.33	-	-	-	-
滋賀県	8	0.89	1	0.11	1	0.11	3	0.33	18	2.57	-	-	-	-
京都府	148	6.73	11	0.50	-	-	7	0.32	2	0.33	-	-	-	-
大阪府	154	2.61	79	1.34	19	0.32	52	0.88	14	1.00	8	0.57	-	-
兵庫県	58	1.26	16	0.35	8	0.17	2	0.04	11	0.79	4	0.29	-	-
奈良県	5	0.56	2	0.22	3	0.33	1	0.11	9	1.80	4	0.80	-	-
和歌山県	4	0.50	5	0.63	-	-	-	-	8	0.73	7	0.64	-	-
鳥取県	9	1.80	-	-	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-	-
島根県	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	14	1.75	15	1.88	-	-
岡山県	45	2.65	7	0.41	4	0.24	15	0.88	4	1.00	1	0.25	-	-
広島県	34	1.26	6	0.22	12	0.44	4	0.15	34	1.62	26	1.24	-	-
山口県	16	1.33	8	0.67	2	0.17	5	0.42	14	1.75	6	0.75	-	-
徳島県	4	0.67	-	-	1	0.17	1	0.17	5	0.71	-	-	-	-
香川県	15	1.67	2	0.22	1	0.11	2	0.22	11	2.20	4	0.80	-	-
愛媛県	22	2.00	4	0.36	3	0.27	1	0.09	4	0.67	-	-	1	0.17
高知県	3	0.50	-	-	1	0.17	-	-	19	2.71	27	3.86	-	-
福岡県	119	3.22	41	1.11	18	0.49	30	0.81	6	0.38	2	0.13	-	-
佐賀県	-	-	4	0.57	-	-	1	0.14	7	1.17	3	0.50	1	0.17
長崎県	13	1.30	10	1.00	5	0.50	5	0.50	1	0.10	-	-	-	-
熊本県	59	4.21	14	1.00	3	0.21	8	0.57	29	1.93	3	0.20	-	-
大分県	7	0.70	6	0.60	1	0.10	1	0.10	15	1.50	9	0.90	-	-
宮崎県	26	2.36	8	0.73	-	-	2	0.18	8	1.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	25	1.56	7	0.44	4	0.25	1	0.06	5	0.42	2	0.17	-	-
沖縄県	72	6.00	3	0.25	4	0.33	7	0.58	6	0.86	2	0.29	-	-

注 2月24日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成15年1月

	結核
	報告数
総数	2332
北海道	80
青森県	37
岩手県	19
宮城県	25
秋田県	6
山形県	12
福島県	32
茨城県	35
栃木県	30
群馬県	26
埼玉県	96
千葉県	91
東京都	268
神奈川県	124
新潟県	61
富山県	11
石川県	20
福井県	9
山梨県	4
長野県	23
岐阜県	28
静岡県	61
愛知県	148
三重県	29
滋賀県	21
京都府	65
大阪府	310
兵庫県	142
奈良県	28
和歌山県	24
鳥取県	11
島根県	10
岡山県	31
広島県	45
山口県	21
徳島県	18
香川県	20
愛媛県	22
高知県	11
福岡県	112
佐賀県	14
長崎県	30
熊本県	23
大分県	19
宮崎県	14
鹿児島県	42
沖縄県	24



7週のデータ

注)表中の報告数は2月20日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年7週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		バスタ		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	8	66	3	9	-	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	13	-	2	-	2	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年7週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	56	3	56	-	-	-	-	-	3	-	-	2	99
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	4	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	1	2	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年7週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	-	1	19	-	15	6	93	-	-	-	6	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	34	-	-	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年7週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	1	18	1	2	-	-	-	-	-	-	6	51
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年7週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	2	18
北海道	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年7週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年7週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	96407	20.41	183	0.06	3042	1.00	25986	8.53	5254	1.72	280	0.09	518	0.17	1795	0.59	16	0.01
北海道	4326	18.81	4	0.03	210	1.45	336	2.32	204	1.41	7	0.05	88	0.61	81	0.56	-	-
青森県	1306	20.09	-	-	33	0.79	227	5.40	71	1.69	2	0.05	9	0.21	15	0.36	-	-
岩手県	1891	30.50	-	-	14	0.37	185	4.87	37	0.97	2	0.05	20	0.53	21	0.55	-	-
宮城県	2116	23.25	6	0.10	68	1.15	770	13.05	121	2.05	4	0.07	12	0.20	30	0.51	1	0.02
秋田県	1633	29.69	18	0.51	44	1.26	191	5.46	41	1.17	2	0.06	1	0.03	15	0.43	-	-
山形県	1368	28.50	-	-	76	2.53	252	8.40	36	1.20	20	0.67	7	0.23	25	0.83	1	0.03
福島県	2502	31.28	-	-	58	1.21	422	8.79	59	1.23	11	0.23	12	0.25	35	0.73	-	-
茨城県	2141	18.14	1	0.01	55	0.74	399	5.39	76	1.03	1	0.01	6	0.08	22	0.30	1	0.01
栃木県	1966	28.09	2	0.04	32	0.70	276	6.00	62	1.35	2	0.04	-	-	32	0.70	3	0.07
群馬県	1876	18.76	-	-	69	1.11	500	8.06	87	1.40	8	0.13	20	0.32	39	0.63	1	0.02
埼玉県	6154	23.95	3	0.02	164	1.03	1690	10.56	232	1.45	4	0.03	14	0.09	120	0.75	-	-
千葉県	4621	22.65	10	0.08	212	1.66	1289	10.07	168	1.31	-	-	14	0.11	83	0.65	-	-
東京都	2871	16.13	11	0.08	78	0.55	840	5.92	110	0.77	2	0.01	14	0.10	49	0.35	-	-
神奈川県	7656	22.79	11	0.05	161	0.78	1512	7.30	266	1.29	4	0.02	29	0.14	127	0.61	-	-
新潟県	2456	24.81	4	0.07	65	1.08	599	9.98	143	2.38	10	0.17	35	0.58	35	0.58	-	-
富山県	1277	26.60	1	0.03	85	2.93	332	11.45	58	2.00	16	0.55	12	0.41	18	0.62	1	0.03
石川県	936	19.50	3	0.10	49	1.69	366	12.62	68	2.34	1	0.03	3	0.10	16	0.55	-	-
福井県	702	21.94	5	0.23	43	1.95	285	12.95	34	1.55	6	0.27	3	0.14	12	0.55	-	-
山梨県	1078	26.29	-	-	19	0.76	90	3.60	22	0.88	3	0.12	1	0.04	5	0.20	-	-
長野県	2327	26.75	-	-	79	1.44	329	5.98	128	2.33	-	-	22	0.40	25	0.45	-	-
岐阜県	1066	12.69	1	0.02	19	0.36	161	3.04	67	1.26	8	0.15	5	0.09	29	0.55	-	-
静岡県	5106	37.27	1	0.01	57	0.66	684	7.95	198	2.30	6	0.07	22	0.26	55	0.64	-	-
愛知県	3058	16.01	10	0.05	174	0.96	1266	6.96	289	1.59	17	0.09	19	0.10	104	0.57	2	0.01
三重県	1075	14.73	-	-	55	1.22	620	13.78	84	1.87	7	0.16	18	0.40	49	1.09	-	-
滋賀県	1116	21.06	-	-	8	0.25	95	2.97	40	1.25	5	0.16	1	0.03	17	0.53	-	-
京都府	2223	17.64	-	-	35	0.46	631	8.30	63	0.83	12	0.16	5	0.07	25	0.33	1	0.01
大阪府	4618	15.19	14	0.07	125	0.64	1337	6.86	294	1.51	11	0.06	15	0.08	89	0.46	-	-
兵庫県	3350	16.92	18	0.14	76	0.59	1072	8.38	214	1.67	3	0.02	18	0.14	95	0.74	1	0.01
奈良県	1298	23.60	-	-	17	0.49	237	6.77	38	1.09	1	0.03	5	0.14	19	0.54	-	-
和歌山県	1541	30.82	-	-	13	0.42	179	5.77	68	2.19	-	-	-	-	19	0.61	-	-
鳥取県	623	21.48	-	-	35	1.84	189	9.95	31	1.63	-	-	4	0.21	12	0.63	-	-
島根県	679	17.87	-	-	9	0.39	125	5.43	35	1.52	2	0.09	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	1172	13.95	1	0.02	16	0.30	333	6.17	89	1.65	-	-	4	0.07	19	0.35	-	-
広島県	680	5.71	9	0.12	59	0.79	886	11.81	95	1.27	7	0.09	8	0.11	42	0.56	-	-
山口県	1091	15.59	3	0.06	104	2.12	576	11.76	122	2.49	10	0.20	12	0.24	34	0.69	-	-
徳島県	875	23.03	-	-	38	1.65	122	5.30	39	1.70	2	0.09	3	0.13	7	0.30	-	-
香川県	1441	28.25	-	-	19	0.59	287	8.97	59	1.84	1	0.03	3	0.09	16	0.50	-	-
愛媛県	1177	18.39	-	-	57	1.46	438	11.23	71	1.82	2	0.05	6	0.15	22	0.56	-	-
高知県	1083	22.10	-	-	33	1.06	218	7.03	71	2.29	3	0.10	11	0.35	12	0.39	-	-
福岡県	2999	15.15	11	0.09	206	1.72	2104	17.53	338	2.82	19	0.16	25	0.21	106	0.88	2	0.02
佐賀県	527	13.51	10	0.43	22	0.96	367	15.96	77	3.35	8	0.35	-	-	27	1.17	-	-
長崎県	1001	14.30	-	-	31	0.70	437	9.93	109	2.48	6	0.14	-	-	13	0.30	-	-
熊本県	935	11.54	13	0.27	80	1.63	780	15.92	119	2.43	5	0.10	-	-	44	0.90	-	-
大分県	1389	23.95	-	-	52	1.44	724	20.11	72	2.00	4	0.11	1	0.03	35	0.97	-	-
宮崎県	1325	22.08	3	0.08	46	1.24	626	16.92	154	4.16	15	0.41	5	0.14	41	1.11	-	-
鹿児島県	2010	20.51	10	0.17	38	0.63	563	9.38	151	2.52	11	0.18	-	-	35	0.58	1	0.02
沖縄県	1746	30.10	-	-	4	0.12	39	1.15	244	7.18	10	0.29	5	0.15	12	0.35	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年7週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	56	0.02	105	0.03	140	0.05	1546	0.51	21	0.03	425	0.67	3	0.01	-	-	1	0.00
北海道	-	-	6	0.04	1	0.01	81	0.56	1	0.03	21	0.72	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	2	0.05	5	0.12	28	0.67	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	-	-	51	1.34	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	3	0.05	71	1.20	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	-	-	-	-	92	2.63	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	25	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	19	0.40	39	0.81	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	4	0.05	19	0.26	1	0.06	47	2.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	2	0.04	23	0.50	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	-	-	-	-	58	0.94	-	-	25	1.79	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	1	0.01	6	0.04	11	0.07	37	0.23	-	-	16	0.44	-	-	-	-	-	-
千葉県	5	0.04	3	0.02	22	0.17	41	0.32	4	0.12	13	0.38	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	0.02	9	0.06	20	0.14	-	-	14	1.00	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	1	0.00	5	0.02	33	0.16	-	-	23	0.55	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	47	0.78	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	2	0.07	-	-	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	3	0.10	-	-	10	0.34	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	2	0.09	-	-	3	0.14	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	5	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	-	-	-	-	15	0.27	1	0.09	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	25	0.47	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	-	-	44	0.51	-	-	5	0.25	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	5	0.03	-	-	71	0.39	2	0.06	18	0.51	-	-	-	-	-	-
三重県	2	0.04	-	-	-	-	14	0.31	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	19	0.59	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2	0.03	25	0.33	-	-	10	0.48	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	16	0.08	5	0.03	50	0.26	4	0.08	16	0.33	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	0.01	4	0.03	127	0.99	-	-	24	0.69	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	-	-	-	-	24	0.69	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	1	0.03	-	-	21	0.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	22	1.16	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	-	-	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	28	0.52	-	-	4	0.07	32	0.59	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	6	0.08	-	-	28	0.37	-	-	19	0.95	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	4	0.08	-	-	34	0.69	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	2	0.09	2	0.09	1	0.25	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	1	0.03	7	0.22	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	2	0.05	6	0.15	-	-	14	2.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	5	0.16	1	0.03	30	0.97	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	5	0.04	3	0.03	80	0.67	1	0.04	27	1.04	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	3	0.13	-	-	7	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	2	0.05	-	-	50	1.14	2	0.25	10	1.25	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	6	0.12	2	0.04	16	0.33	2	0.22	13	1.44	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	6	0.17	-	-	18	0.50	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	4	0.11	3	0.08	28	0.76	26	0.70	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	0.02	4	0.07	36	0.60	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	1	0.03	14	0.41	1	0.10	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年7週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	90	0.19	2	0.00	7	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	-	-	2	0.17
秋田県	2	0.25	-	-	-	-
山形県	3	0.30	-	-	1	0.10
福島県	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.23	2	0.15	-	-
東京都	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	8	0.67	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.25	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.13	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	6	1.20	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	34	3.09	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	5	0.71	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第7号 平成15年2月28日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。